

令和5年第10回尾道市教育委員会会議録

日 時 令和5年8月24日（水） 午前10時00分 開議
場 所 尾道市庁舎4階 委員会室
署名委員 村上節子委員

午前10時0分 開会

○宮本教育長 定刻になりましたので、ただいまから第10回教育委員会定例会を開きます。

本日の会議日程は、お手元に印刷配付のとおりです。

本日の会議録署名委員は、村上節子委員を指名いたします。

これより日程に入ります。

日程第1、業務報告及び行事予定を議題といたします。

業務報告及び行事予定のうち重要な項目がありましたら、順次報告をお願いします。

○末國庶務課長 教育長、庶務課長。庶務課に関わります業務報告並びに行事予定について御説明をさせていただきます。

議案集の1ページをお開きください。

まず、業務報告については記載のとおりとなっております。

記載以外のことといたしましては、昨日23日に豪雨や落雷が市内各所で行きまして、市内の学校施設において電話が不通になる、空調が故障するなどといったトラブルが幾つか報告されております。こういった事態については、順次対応している状況でございます。中には、復旧に時間を要するものもございりますが、可能な限り早期に対応をしたいというふうに考えております。

行事予定につきましては記載のとおりでございます。

御報告は以上でございます。

○井上生涯学習課長 教育長、生涯学習課長。生涯学習課の業務報告及び行事予定について御報告いたします。

2ページを御覧ください。

まず、業務報告でございます。

8月5日、おのみち市民大学家庭教育講座「小学生のための音楽と夏の星空観察会」を市役所本庁舎で開催いたしました。当日は、58名の方が参加されましたが、特に印象的だったのは、保護者の方から昔勉強したことを思い出し

た、大人向けもやってほしい、ふだんの生活では味わえない機会だったなど、大人自身も楽しめたという高評価のアンケート結果をいただいております。

続きまして、行事予定でございます。

9月24日に「おやこのための音楽会」を市民センターむかいしまで開催いたします。兄弟デュオ、ベラルーチェによるピアノ演奏会で、子供から大人まで楽しめる参加型コンサートとなっております。

続きまして、図書館について指定管理者から報告のあった事業について御報告をいたします。

3ページを御覧ください。

中央図書館でございます。

業務報告でございますが、8月11日と13日に子ども1日図書館員を行いました。2日間で合計8名の小学生が参加され、図書館での仕事を1時間程度体験をされました。体験中に描いてもらった本の紹介ポップを現在もカウンターの前に置いておきまして、その紹介を見て実際に本を借りられる方も多いとのことでございます。

行事予定につきましては記載のとおりでございます。

続きまして、4ページを御覧ください。

みつぎ子ども図書館でございます。

業務報告でございますが、8月は展示コーナーで「松本香菜子・西村理奈 日本画二人展」を行っております。お二人とも圓鋸勝三彫刻美術館に勤務している学芸員でございまして、展覧会などで日本画の発表を続けられております。また、作品展示だけでなく、日本画に使う和紙や画材も展示しており、触れる機会の少ない画材を直接手にとって身近に感じてもらえるような、そういった展示になっているとのことでございます。

行事予定につきましては記載のとおりです。

続きまして、5ページを御覧ください。

因島図書館でございます。

業務報告につきましては記載のとおりです。

行事予定でございますが、9月24日に瀬戸内「し・ま・の・室内楽」特別公演弦楽四重奏演奏会を行います。例年、尾道市や今治市の島嶼部各地の学校などを中心に1週間ほど行われている演奏会、「し・ま・の・音楽祭」の特別公演でございまして、市内の図書館で行うのは初めてとなります。

同日の午後には、中央図書館でも開催される予定となっております。

続きまして、6ページを御覧ください。

瀬戸田図書館でございます。

業務報告につきましては記載のとおりです。

行事予定でございますが、9月16日に「ろうそくの灯りでおはなし会」を行います。語り手の大げさな身ぶり手ぶりはなく、耳から物語を聞いて想像してもらうおはなし会で、動画など視覚情報に慣れた現代の子供たちに、聞いて想像する体験をしてもらいたいと企画、開催するものでございます。

続きまして、7ページを御覧ください。

向島子ども図書館でございます。

業務報告でございますが、8月22日から本日まで、向島中学校職場体験実習を行っており、2名の生徒を受け入れております。実習生がお勧めの本の展示のテーマを考え、9月下旬まで本を展示するというところでございますが、9月12日は宇宙の日というテーマで、宇宙にちなんだ本の展示をするとのことでございます。

行事予定につきましては記載のとおりです。

以上で図書館の業務報告を終わります。

○**榎原因島瀬戸田地域教育課長** 教育長、因島瀬戸田地域教育課長。因島瀬戸田地域教育課の業務報告並びに行事予定について御説明いたします。

8ページを御覧ください。

行事予定及び業務報告ともに、進捗中の業務について記載させていただいております。

因北小学校遊具設置業務については、今週末で完了する旨、報告を受けておりますので、週明けからは新しい遊具の利用が可能となる予定です。

そのほか、8月末までの修繕業務を進めておりますが、予定どおり期限内に完了する見込みです。

以上でございます。

○**中司美術館副館長** 教育長、美術館副館長。美術館の業務報告並びに行事予定について御説明いたします。

9ページを御覧ください。

初めに、業務報告ですが、市立美術館では特別展「超・色鉛筆アート展～神王ザ12人の彩りスタイル」を開催中で、関連事業を実施しています。

7月29日土曜日には、キッズフェスタ協賛事業として「色鉛筆をつかったぬりえ教室」を開催し、子供5人、大人13人の参加がありました。

また、8月5日には出展作家2名が講師となり、色鉛筆を使ったワークショップを開催し、30名の参加がありました。

その他につきましては記載のとおりでございます。

続いて、行事予定ですが、市立美術館では引き続き9月3日まで超・色鉛筆アート展を開催し、9月16日からは特別展「NEW LANDSKAP ニューランドスカップ シュシ・スライマン展」が始まります。本展覧会では、現代のマレーシアを代表するアーティスト、シュシ・スライマンの尾道での活動の集大成を、尾道市立美術館と尾道旧市街斜面地で同時に展示公開いたします。

9月16日土曜日のオープニングと翌週の23日の土曜日に、作家本人とキュレーターによるトークショーを開催予定です。

また、圓鋸勝三彫刻美術館では、9月5日火曜日から「圓鋸勝三 わが人生」と題し、開館30周年記念展を開催いたします。本展では、圓鋸勝三の初期デザインや修行時代の画帳、晩年までの作品までを圓鋸勝三の言葉と共に展示し、改めて圓鋸勝三の功績を振り返る展覧会といたします。

9月17日土曜日には、圓鋸勝三の弟子によるギャラリートークを開催する予定でございます。

平山郁夫美術館では、9月16日土曜日から平山郁夫のまなざし―「聖地を巡る旅」と題し、平山郁夫が聖地として描いた作品の数々を紹介する特別展を開催いたします。

その他につきましては記載のとおりでございます。

以上でございます。

○三浦学校経営企画課長 教育長、学校経営企画課長。学校経営企画課に係る業務報告並びに行事予定について御報告をいたします。

10ページを御覧ください。

まず、業務報告についてですが、8月21日、教務主任研修会を行いました。学校経営アドバイザーから教務主任の役割と題しての講義及び協議、学校経営企画課から学校評価を活用した学力向上の取組についてと不祥事の未然防止に向けての協議、教育指導課から学力調査を活用した学力向上の取組について講義、演習を行いました。

8月23日、校長会議を行いました。

また、記載にはありませんが、夏季休業を利用して全ての小・中学校を対象に尾道市教育委員会による学校訪問を行っております。昨日までに33校を訪問し、今後残る6校を訪問する予定です。

この訪問は、昨年度、学校諸費会計の横領事案が生起したことを受けて、今年度も会計簿や関係諸帳簿の点検を行い、再発を防止することを目的に行っております。また、出勤簿や休暇簿等、サービス関係の諸帳簿や、指導要録等、児

童・生徒に関わる諸帳簿が適正に取り扱われているかを確認することを目的としております。

訪問した学校では、会計や諸帳簿の取扱いはおおむね適正に取り組まれておりましたが、一部の学校についてはより適正となるよう今後留意して取り組んでいく必要がある事項について指導を行っております。

次に、行事予定についてですが、9月19日から9月28日までの8日間、小・中高等学校長に対して業績評価に係る校長面談を行う予定としております。

久保・長江中学校区の学校再編についてですが、7月31日から8月2日にかけて関係する学校ごとに行いました保護者説明会、8月7日から8月10日まで小学校区ごとに行いました地域説明会につきましては、既に教育委員会臨時会でお伝えをしております。

8月18日、第5回議員説明会と育友会・PTA役員との第7回意見交換会を行い、保護者説明会や地域説明会での状況やいただいた意見等につきまして説明をするとともに、教育長が教育委員会としての判断について説明をいたしました。

議員説明会では、説明会を通して地域の方から理解を得ることができたか、通学の安全確保について今後どう考えているか、また土堂小学校の耐震化に係る費用の根拠についての質問、児童・生徒の安全確保や適正な学校規模の確保の観点から学校再編を行うべきであるとの意見や、学校再編はまちづくりの観点から検討すべきであるとの意見をいただきました。

また、育友会・PTA役員との意見交換会では、新しい学校の施設の充実を求める意見とともに、多額の費用をかけることに市民として不安であるという意見、また通学路の安全確保を行うことで保護者の不安を払拭してもらいたいといった意見などをいただきました。

以上でございます。

○石本教育指導課長 教育長、教育指導課長。教育指導課に係る業務報告並びに行事予定について御説明申し上げます。

11ページを御覧ください。

それでは、業務報告です。

7月31日に尾道市初任者研修会、教職経験者5年目研修会を実施しました。初任者37名、5年目34名を対象に、市役所2階の多目的室で実施をいたしました。研修内容は、尾道教育総合推進計画の説明や服務に関する内容、模擬授業体験、1学期の振り返りを基にタブレット端末を活用しながら研修を行いました。教職員同士が研修の協議によりネットワークを広げる機会となりました。

初任者は、8月3日にも研修を行っています。

8月1日には、尾道市中学校リーダー研修会を実施しました。市内中学校から生徒会の役員48名が一堂に会し、中学校間の交流を図ることによって尾道市の中学校のリーダーとしての自覚を強め、尾道市の生徒会活動を連合、発展的なものとするを狙い、今年で19年目となる研修会として実施しています。

今回は、研修の講演として、瀬戸田のAzumi Setodaのおかみ窪田様から、外から見た尾道の魅力とリーダーに期待することとして、自分たちの地域のことをどれだけ話すことができるかなど、地域について目を向けることの大切さや進路についてなどお聞きいたしました。

リーダー研修会の第2回は、12月26日に予定しております。

続いて、8月2日におのみち作業検定を、市内中学校から20人の生徒が尾道特別支援学校としまなみ分校で受検し、それぞれ検定に挑戦いたしました。

続いて、8月9日の尾道教育研究会全体研修会は、オンラインで実施いたしました。今求められている学力と学びについて、京都大学大学院の石井英真准教授の講演を各学校で視聴し、学校ごとに自分の学校で進めることなどを協議する時間を持ちました。

後半では、小柳学校教育部長から、なぜ教育委員会が小学校2年生の学力向上に力を入れているのかについて講話を行い、低学年段階からの授業が大切である内容を研修しました。

続いて、8月17日の第1回教育支援委員会では、主に小学校から中学校に入学する児童の就学について審議を行いました。今後、第2回を10月、第3回を11月に予定しており、引き続き適切な就学に努めてまいります。

続いて、8月18日には、通級指導担当者研修会をオンラインで実施しております。

8月22日には、尾道小学校教育研究会領域部会と尾道市教育相談連絡協議会を実施しております。

次に、行事予定です。

行事については御覧いただいているとおりです。

続いて、4月に実施された全国学力・学習状況調査の尾道市の状況について報告いたします。

全国学力・学習状況調査については7月末に公表となり、現在事務局でも分析を進めております。詳しくは次回に御報告いたしますが、数値については御報告いたします。

まず、小学校国語についてです。尾道市の平均正答率が70、広島県が69、全

国が67.2。次に、同じく小学校の算数についてです。尾道市が65、広島県が64、全国が62.5。

中学校の国語についてです。尾道市は69、広島県が70、全国が69.8。中学校の数学についてです。尾道市が49、広島県が49、全国が51。中学校の英語についてです。尾道市が44、広島県が43、全国が45.6でした。

小学校では、国語、算数ともに全国や県の平均を上回る正答率でした。中学校では、国の正答率との比較では国語がマイナス0.8、数学がマイナス2、英語がマイナス1.6と下回っており、生徒のつまずきに応じた学習指導ができるよう、調査の対象学年だけでなく学校全体で共有し、系統性を意識した組織的な学習指導につなげるようにまとめているところです。

全国学力・学習状況調査の主な教科の課題等につきましては、次回の教育委員会会議で御説明をいたします。

以上でございます。

○宮本教育長 ただいまの報告について御意見、御質問はありませんか。

○豊田委員 先ほど石本課長さんからお話がありましたが、尾道市教育研究会全体研修会があって参加させていただきましたけれども、そこで京都大学の先生のお話もさることながら、小柳部長さんから尾道市内の小学校2年生を焦点化して研修をしたりとかいろんな取組をしてるということのお話と、2年生からもう既に勉強が分からないから不登校になりがちになるとか、そういった非常に細かい資料をデータを入れてお話がありましたが、これを全校に、全部の先生方が聞かれたんだろうと思うんですけれども、ぜひこのことを中心に、1日だけではなくって、これから2学期が始まりますけれども、先ほどの全国学力のこともありましたが、どのあたりで詰まっていますか、何をどうすれば子供たちが意欲的に学んでいくのか、そういったところを小柳部長さんの提案を基にして、しっかり今後それをぜひ教育委員会で見届けていただきたいなと思うんです。そういうことをお願いしたいと思います。

以上です。

○村上正則委員 全国学力の件なんですけども、これは表を見ると海田町と坂町が非常にいいんですけども、英語は尾道のほうが上回ってるんですが、これ何か理由を御存じでしょうか。何がいいのか、何が尾道が悪いのか、もし分析されてれば教えてください。

○石本教育指導課長 教育長、教育指導課長。学力の状況について、英語についてでございますが、他市町の状況等についてはまだこちらのほうも伺ってはいないところがございますので、今後どのような取組をされているのかというこ

とも情報交換、交流をしながら、本市でも取り組めること、また本市の中でも取り組んでいくことなどを整理してまいりたいと思っております。

以上です。

○**奥田委員** 学校経営企画課に質問をさせていただきます。

10ページで、口頭で説明がありましたが、夏季休業中を利用して各学校訪問をしているという説明がありました。その中で、特に昨年度は不適切な会計処理があったという反省も踏まえて、今年度は全校一斉に学校訪問をして会計簿とか出勤簿とかを点検してるということでした。全体、残り3校があるんでしょうけれども、ここまでのところでおおむね適切に処理されていたという報告でした。

ただ、そのおおむねのところでもう少しこういうところは直さないといけないという指導をされた内容がどういうレベルであったのかというところを、もう少し具体的にお教えいただければと思います。

もう一点、昨年度本当に不適切な会計処理があった学校について、どのように改善されていたのか、具体的に見られてどういうところがしっかり改善されていたと言えるのか、その2点についてお伺いしたいと思います。よろしくお願ひします。

○**三浦学校経営企画課長** 教育長、学校経営企画課長。今年度も全ての学校、残る6校がございますけれども、現在のところほとんどの学校で適正に実施されているというふうに判断をしております。

ただ、一部の学校について指摘をして、改善もするよという事で指導してきた内容でございますけれども、2点ほどございまして、まず業者へ支払いをすると、そのために銀行口座からお金を引き出して支払いをする必要があるので、引き出しをしてから業者への支払いまで多少期間がかかっているということは学校の中で保管をしているということですので、現金紛失の可能性、リスクが生じるのではないかと。引き下ろしたらすぐ業者に払うよという指導をしております。

もう一点が、これは昨年度横領事案が起きた学校にも言えることでございますけれども、昨年度横領事案が生じた学校につきましては、やはり毎月、点検をすること、それから会計監査をしっかりとすること、この2点が定められておりますが、これができていなかったということで横領をする隙を与えてしまったということが大きな反省でございました。

今年度、当該校につきましては、非常に改善がされて組織的に点検を行っている、会計監査もしっかりと行っているという状況でございます。

ただ、ほかの学校につきまして、もちろん適切に点検を行っているんですが、教頭と校長が点検をしているということで、もう一名事務職員を加えるなどし、そうした専門的な見地からもしっかりと点検をする必要があるのではないかと、そういった指導をさせていただいているところでございます。

○村上正則委員 その場合、ミスはかなり防げると思うんですけども、横領事案ということになると犯罪ですので、そこら辺の対応は非常に難しいとは思うんですけども、どういうふうな対応をなさってますか。

○三浦学校経営企画課長 教育長、学校経営企画課長。先ほどちょっと申しあげましたように、昨年度生起しました横領事案につきましても、書類をきちんとしていくことで、点検をきちんとしていくことでミスが防げると同時に、そういった罪を犯してはならないと、犯す隙を与えないということにも十分寄与できると考えております。

そうした意味からも、組織としてしっかりと帳簿をつけていく、点検をしっかりしていく、隙を与えないということを繰り返すのが犯罪防止、抑止にもつながると思っております。

○宮本教育長 ほかにございませんか。

○村上正則委員 おのみち作業検定のことでお聞きしたいんですが、指導課なんですが、ちょっと詳しいことを教えていただきたいのと、それと教育委員会のウェブページ、ホームページのほうに令和2年と令和3年のおのみち作業検定の実施状況について上がってたんですけども、4年と5年は上がってないんでしょうか。どんなんですか。上げる予定はあるのでしょうか。

○石本教育指導課長 教育長、教育指導課長。おのみち作業検定でございますが、これはおのみち作業検定を中学校の特別支援学級、知的学級の生徒を対象に作業学習の一環として行っております。特別支援学校と連携をさせていただいております、一緒におのみち作業検定として実施をしているところでございます。

今年度の状況、昨年度の状況につきましては、またホームページ等を確認させていただいて、また今年度のことについてはお知らせをできるように準備してまいりたいと思います。

以上です。

○宮本教育長 ほかにいかがでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 ないようですので、日程第1、業務報告及び行事予定を終わります。

次に、第7回定例会で村上正則委員から御質問いただいた審議会委員の選定について説明をお願いします。

○末國庶務課長 教育長、庶務課長。6月の定例会におきまして、村上正則委員さんのほうから教育委員会所管の審議会や各種団体の委員について御質問をいただいております件について調査いたしました。

教育委員会が所管する審議会、各種団体は合わせて28団体ございまして、調査結果は冊子にまとめており、お配りした後、後日御意見をいただければと考えておりますので、よろしく願いいたします。

以上でございます。

○宮本教育長 よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では次に、日程第2、議案の審査に入ります。

議案第36号令和4年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書についてを議題といたします。

提案理由の説明をお願いします。

○末國庶務課長 教育長、庶務課長。議案第36号について御説明をさせていただく前に、まず訂正がございますので、差し替えのお願いと訂正内容の御説明をいたします。

事務点検評価報告書の52ページから学識経験者の意見等を掲載しておりますが、御意見のまとめ方につきまして学識経験者御本人から修正の御指示をいただきましたので、変更を行っております。

54ページ、55ページ、56ページの差し替えのほうをお願いいたします。

変更箇所につきましては、新旧対照表のとおりでございます。大変申し訳ございませんでした。

それでは、改めて議案第36号令和4年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書についての御説明を申し上げます。

議案集の12ページをお開きください。

この議案の提案理由でございますが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、令和4年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書を作成いたしましたので、尾道市教育委員会教育長事務委任規則第1条第15号の規定に基づきまして教育委員会の承認を求めるものでございます。

点検評価報告書につきましては、5月に素案をお配りしておりますが、報告書の構成について改めて御説明をいたします。

別冊の点検評価報告書を御覧ください。

報告書の1ページですが、初めにといたしまして本報告書の概要をお示ししております。

2ページ目では、点検及び評価の方法と学識を有する方からの御意見を今後の取組に生かし、教育行政を推進していくことを明らかにしております。

3ページは、教育委員会の令和4年度における活動状況でございます。

4ページから5ページまでは、令和4年度に教育委員会会議で審議された議案及び報告について記載しております。

6ページには、教育委員会の委員名簿を掲載しております。

7ページから9ページ目までについては、令和4年度に実施した施策、事業について、尾道教育総合推進計画の体系別にその一覧を掲載しております。

評価点検を行った取組を51項目に整理いたしまして、10ページから51ページにわたり、取組状況や成果と課題及び改善の方向性を記載しております。

去る8月2日水曜日に、3人の学識経験者をお招きして学識経験者会議を開催し、点検評価報告書に対して御意見をお伺いいたしました。

53ページを御覧ください。

ここからは、素案にはなかった新たな追加項目を記載させていただいており、学識経験者からいただいた御意見を取りまとめたものを掲載させていただいております。

総括的意見として、自ら学び、いじめ問題についても自分たちで考えるよう子供たちの自主性をどのように引き出すか政策として取り組んでほしい、主体は児童・生徒であり、学校の先生方であり、教育委員会が指導支援を行っていく中で、学校が主体になって動けるということが求められているという御意見、また子供たちは自分で企画する取組であれば頑張る、達成感や自己肯定感を子供たちが体験する機会を増やすべきである、将来的には学力向上にもつながっていくのではないかとといった御意見を頂戴しております。

その他、個別の取組に対する意見についても取りまとめております。

これらにつきまして、今後の取組に生かしてまいりたいと考えております。

また、学識経験者会議では、報告書の文章表現に関する御指摘も多々いただいております。今回お配りしております点検評価報告書案は、その御指摘を反映したものとなっております。変更箇所を別添の新旧対照表に取りまとめておりますので、御覧いただければと思います。

この報告書について、本日の教育委員会会議で御承認をいただきましたら速やかに市議会へ提出し、ホームページによる公表を行いたいというふうに考え

ております。

以上、御審議の上、御承認賜りますようよろしくお願いいたします。

○宮本教育長 それでは、御意見、御質問はありませんか。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では、ないようですので、これより議案第36号を採決いたします。

本案は原案のとおり承認することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 御異議なしと認め、本案は全会一致で原案のとおり承認することに決しました。

次に、議案第37号尾道市放課後子どもプラン運営委員会委員の解嘱及び委嘱についてを議題といたします。

提案理由の説明をお願いします。

○井上生涯学習課長 教育長、生涯学習課長。議案第37号尾道市放課後子どもプラン運営委員会委員の解嘱及び委嘱についての議案説明をいたします。

議案集13ページを御覧ください。

本議案は、尾道市放課後子どもプラン運営委員会設置要綱第4条の規定に基づき、別紙のとおり委員を解嘱及び委嘱するものでございます。

本運営委員会でございますが、放課後児童クラブや放課後子ども教室の適正運営や連携などを進めるために、委員から御意見、御助言等をいただいている組織でございます。

14ページを御覧ください。

所属団体における辞職届の提出に伴い、2名の方の変更となります。まず、PTA関係者の保護者代表としまして、御調西小学校PTAの迫宣人氏を解嘱しまして、重井小学校PTAの峯松幸平氏を新たに委嘱いたします。

また、社会教育関係者の子ども教室指導者代表として委嘱しておりました重井放課後子ども教室の柏原秀清氏を解嘱し、西藤放課後子ども教室の上利由起子氏を新たに委嘱いたします。

委嘱期間は、令和5年9月1日から前任者の残任期間である令和7年2月28日まででございます。

15ページに委員14名の名簿をおつけしております。

改選後の平均年齢は55.7歳、女性委員の割合は78.6%となっております。

以上、御審議の上、御承認を賜りますようお願いを申し上げます。

○宮本教育長 それでは、御意見、御質問はありませんか。

○豊田委員 質問をしたいんですけれども、放課後子ども教室ですね、それと以前から話題にはなっていたんですけれども、それから児童クラブで、これは主催が違いますので、文科省と厚生省ですか、それで一緒にはならないんですけれども、受ける子供たちの側からすれば、地域の方と一緒にあって地域の歴史を学んだりとかそういうこともありますし、様々な取組もあるんですけれども、一緒にしたらどうかというふうなことも前から話題にはなっておりますけれども、見通しとしてはどうなんでしょうか。

○井上生涯学習課長 教育長、生涯学習課長。現時点で、市内で放課後児童クラブと子ども教室を一緒にやっていると、浦崎で1つやっていると状況がございまして、なかなか一方で委託、一方でその地域の指導者とかボランティアの方をお願いしているということで、なかなかこれを一緒にするのは難しいというような御意見があります。

ただ、こういった今回のプランの委員さんの中から、一緒にはできないんですけれども、何かイベントとか、何か1つ一緒にするとか、そういった取組もまずはやってみないかというような御意見もありますので、どういったことができるかというのをこれからまた検討していきたいと考えております。

以上でございます。

○豊田委員 ありがとうございます。

○宮本教育長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 ないようですので、これより議案第37号を採決いたします。

本案は原案のとおり承認することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 御異議なしと認め、本案は全会一致で原案のとおり承認することに決しました。

次に、議案第38号令和6年度入学分学校選択制度の実施についてを議題といたします。

提案理由の説明をお願いします。

○石本教育指導課長 教育長、教育指導課長。議案第38号令和6年度入学分学校選択制度の実施についての説明をいたします。

議案集16ページを御覧ください。

令和6年度入学分学校選択制度を実施するため、尾道市立小学校及び中学校

の学校選択制度実施要綱第5条第1項に規定する受入れ可能人数について別表のとおり定め、教育委員会の承認を求めるものでございます。

当該制度は、平成16年度入学分より実施しておりますが、令和元年度に受入れ可能人数をなるべく均等にすること、また、学級増にならない範囲で実施するよう制度の見直しを行っております。

令和6年度入学分についても同様の方針で実施いたします。

17ページの別表1を御参照ください。

まず、全校一律10名の受入れ可能人数を基本としますが、学級増になる場合は5名の設定としております。ただし、入学予定者数が既に学級増の基準に極めて近く、5名の受入れもできない学校が複数ございますので、その場合は学級増を前提に一律10名で設定しております。そのため、申請状況によっては学級増の可能性がございます。

次に、久保小学校、長江小学校、土堂小学校の3小学校について御説明いたします。

昨年度、令和5年度入学について保護者から実施要望もあり、再編後の姿をシミュレーションし、各学校5名、最大15名の受入れ人数であれば、今後の学校統合協議に支障を与えることがないとの結論に達し実施いたしました。

令和6年度入学分も昨年同様の考え方として、統合後の学級数から3小の合計受入れ可能数を算出し、各校5名と設定しました。3小分の実施方針は以上です。

なお、実施の日程については、別表の2を御確認ください。

次に、特別支援学級の学校選択制度についてです。

特別支援学級入級予定者については、令和2年度入学から制度の利用ができるよう見直しを行いました。特別支援学級の学校選択を希望される場合は、教育支援委員会での意見を参考に、適切な就学相談を経てからの申請が望ましいということもあり、通常学級の申請とは別に申請期間を設けて実施いたします。

以上、令和6年度入学分の学校選択制度の実施について、御審議の上、承認賜りますようお願いいたします。

○宮本教育長 それでは、御意見、御質問はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 ないようですので、これより議案第38号を採決いたします。

本案は原案のとおり承認することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 御異議なしと認め、本案は全会一致で原案のとおり承認することに決しました。

次に、議案第39号令和6年度に尾道市立小学校及び中学校の特別支援学級で使用する教科用図書の採択についてを議題といたします。

提案理由の説明をお願いします。

○石本教育指導課長 教育長、教育指導課長。議案集19ページを御覧ください。

議案第39号令和6年度に尾道市立小学校及び中学校の特別支援学級で使用する教科用図書の採択について御説明いたします。

まず最初に、別紙について差し込ませていただいております。後になりまして大変申し訳ございません。よろしくお願いいたします。

本議案は、令和6年度に尾道市立小・中学校の特別支援学級で使用する教科用図書のうち、学校教育法附則第9条第1項の規定による図書について、令和6年度の尾道市立小・中学校で使用する教科用図書の採択方針に基づき、別紙のとおり採択をしたいので、教育委員会の御承認を求めます。

特別支援学級の児童・生徒の教科書は、学校教育法施行規則により、障害の程度に応じて他の適切な教科用図書を使用することができることとなっており、当該学年の教科書を使用するもの、下の学年の教科書を使用するもの、文部科学省の著作教科書、いわゆる星本と呼ばれるものを使用するもの、一般図書と呼ばれる県教育委員会がホームページに掲載した令和6年度使用教科用図書の選定資料に登載された図書を使用するものがあります。

今回は、この令和6年度使用教科用図書選定資料に登載された図書の中から、各学校が児童・生徒の個々の障害の実態を踏まえて適切な教科書を選定し、申請をしてきたものの一覧です。

もう少し具体的に申し上げますと、特別支援学校の教育課程を選定し、知的に障害のある児童・生徒には、絵が主になっているものであるとか漢字にルビが振ってあるもの、字の大きさが大きいもの、イラストで理解が深まるように工夫してあるもの、こういった図書の中から、個別の障害の程度に応じて各学校で選定をしてきたものの一覧でございます。

なお、学校から申請されてきているものにつきましては、令和6年度に尾道市立小・中学校で使用する教科用図書の採択基本方針に基づき、校内で校長、教頭、教務主任、特別支援教育コーディネーター、当該児童・生徒の担当教員、事務職員などから成る教科書選定会議を設置し、児童・生徒の障害の状況及び発達段階の実態を把握した上で、実情に合った教育課程を基に教科用図書の選定を進めてきたものです。

教育委員会事務局としても適正であることを確認の上、一覧表として提出をさせていただいているものでございます。

以上、御審議の上、御承認賜りますようよろしくお願いいたします。

○宮本教育長 それでは、御意見、御質問はありませんか。
よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 ないようですので、これより議案第39号を採決いたします。

本案は原案のとおり承認することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 御異議なしと認め、本案は全会一致で原案のとおり承認することに決しました。

次に、議案第40号令和6年度に使用する広島県尾道南高等学校用教科用図書の採択について及び議案第41号令和6年度に使用する小学校教科用図書の採択についての2案でございますが、これらの審議には、教科用図書の搬入、搬出が必要になりますから、最後に審議することといたします。

以上で議案第40号及び議案第41号の2案を除く日程第2、議案の審査を終わります。

次に、日程第3、報告に入ります。

報告第11号臨時代理の報告についてとなりますが、報告をお願いいたします。

○末國庶務課長 教育長、庶務課長。それでは、御説明いたしますので、議案集の第22ページをお開きください。

報告第11号臨時代理の報告についての御説明をさせていただきます。

臨時に代理をした内容でございますけれども、工事請負契約の締結に関する意見の申出についてでございます。

これにつきましては、市長が9月定例市議会に提案される工事請負契約の締結に対する教育委員会からの意見の申出について、委員会を招集する時間的余裕がなく、8月18日に専決処分を行ったものでございます。

教育委員会といたしましては、市長に対し、工事請負契約の締結について同意するという内容でございます。

これについて臨時に代理をいたしましたので、尾道市教育委員会教育長事務委任規則第5条第2項の規定により報告し、承認を求めるものでございます。

議案集の24ページを御覧ください。

工事の内容についてでございますが、こちらは因島学校給食共同調理場新築

工事（建築主体）でございます。

工事場所につきましては、尾道市因島中庄地内。工事概要につきましては、建築工事一式で、建物は鉄骨造り平家建て、延べ床面積が570.36平方メートル、工期は令和6年9月27日までを想定しております。請負金額は2億9,700万円、契約の相手方は株式会社加納屋建設でございます。

位置図、平面図等につきましては、25ページから28ページまでを御覧ください。

こちらは、中学校全員給食の実現及び老朽化した因島共同調理場の更新を行うための工事請負契約となっております。

以上について御報告し、御承認をお願いするものでございます。

○宮本教育長 それでは、御意見、御質問はありませんか。

○村上正則委員 位置図を見ると、グラウンドの面積がかなり狭くなるんですけども、これは大丈夫なんですか、今後のことも考えて。

○末國庶務課長 教育長、庶務課長。グラウンド面積につきましては、一部どうしても減少してしまうという部分はございますけれども、児童数に対するグラウンドの基準面積については十分に確保できているものというふうに考えております。

○宮本教育長 ほかにいかがでしょうか。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 以上で日程第3、報告を終わります。

その他といたしまして、委員の皆様から何か御意見等はございますか。

○村上正則委員 傍聴規則についてお伺いしたいんですけども、今日たくさん来られてるんですけども、傍聴する場合はあらかじめ別紙様式による傍聴申請書を提出する、これは開催の1週間前から提出できるということになってるんですけども、1週間前ということは教育会館に向いて紙を出すという運用ですか、今のところ。

○末國庶務課長 教育長、庶務課長。実際に今までなかなかそういった実態というか、そういった御希望等をいただいたことはございませんのですが、原則としてそのような形になろうかというふうに考えます。

○村上正則委員 運用面で改善していただきたいのは、浦崎の方、御調の方、瀬戸田の方が1週間前に1回来て出して、そのときに傍聴券をもらいますよね、また開催当日に来ないといけないというのは、ちょっと2回も来るというのはなかなか酷な話で、例えばファクスでできるとかメールでできるとか、何かそ

ういったことはできないものでしょうか。

○末國庶務課長 教育長、庶務課長。今すぐにちょっとこうしますということは、すぐにはちょっとなかなか申し上げられないんですけれども、今御意見いただきましたので、また次回の会議までには検討させていただいて、御報告をさせていただけるように対応しようと思います。よろしくお願いします。

○村上正則委員 分かりました。よろしくお願いします。

○宮本教育長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 ないようですので、それでは教科用図書採択に関する議案の審議に入りたいと思いますが、議事の都合により休憩をとります。

再開は11時10分からとさせていただいてよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では、よろしくお願いいたします。

暫時休憩します。

午前10時56分 休憩

午前11時10分 再開

○宮本教育長 それでは、休憩前に引き続き会議を再開します。

関係部課長のみを説明員として出席させております。

議題に入る前に、教育委員の皆様にございます。

傍聴の方がたくさん来ておられまして、そこの扉を開けさせていただいて、ここでの声等が外にいらっしゃる方に聞こえるように戸を開けさせていただいていいかということがまず1点。

それから、今すぐはできませんが、午後から入られない方のためにスピーカーで外に音声が聞こえるようにという、そういうことについていかがでしょうかということ御意見をお願いしたらと思います。

奥田委員。

○奥田委員 事前に今日の会議の流れの中ではそういうことは想定されていなかったということですから、あまり望ましくないのではないかなと。当初のこの会議の在り方ということで我々が把握していた流れでやっていただくのがいいのではないかなということは思います。

○村上正則委員 私も奥田委員と同意見なんですが、今日はこの場所なんですが、通常は教育会館の会議室でするんですけども、教育会館の会議室でドアを

開けた、例えば広いドアの場合は全面開放ということも考えられるので、ちょっと今すぐいいですとか悪いですとか、ケース・バイ・ケースになるので何とも判断しにくい問題かなとは思いますが。

○**豊田委員** お二人がおっしゃられたように、前もってそういうことがあればそのようにできたんでしょうけれども、今回急なことなので、聞いていたとおりにしていただくといいんじゃないかなというふうに思います。

○**宮本教育長** では、今回が初めてということでしたので、急に対応というのを変えるというのは難しいということで、当初の形でいかせていただくということでもよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○**宮本教育長** では、そのような形で進めさせていただきます。

議案第40号令和6年度に使用する広島県尾道南高等学校用教科用図書の採択についてを議題といたします。

本議案については、尾道南高等学校から中野校長先生に出席をお願いしております。

それでは、提案理由の説明を事務局からお願いします。

○**石本教育指導課長** 教育長、教育指導課長。令和6年度に使用する広島県尾道南高等学校用教科用図書の採択についての提案理由について御説明いたします。

高等学校の教科書採択は毎年行われることになっており、教科書の採択権が学校管理機関である教育委員会の職務権限に含まれているため、採択をお願いするものでございます。

尾道市教育委員会として、5月の教育委員会会議で教科用図書の採択基本方針を御承認いただき、それに基づいて校内に校長、教頭、教務主任等から成る教科書選定会議を設置し、選定作業を行っております。

この後、尾道南高等学校長から学校の経営方針、教科書選定の手順、選定結果等について報告をしていただきますので、御審議いただければと考えております。よろしく願いいたします。

○**宮本教育長** ただいまのところまで、何か委員の皆様から御意見や御質問はございませんか。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○**宮本教育長** ないようですので、それでは令和6年度に使用する広島県尾道南高等学校用教科用図書について、尾道南高等学校中野校長先生から説明をお願い

いたします。

○中野広島県尾道南高等学校校長 広島県尾道南高等学校の校長の中野と申します。よろしく願いいたします。

まず、教科書を採択するに当たり、本校の概要について御説明を申し上げたいと思います。

本校の概要であります。本校は広島県で唯一夜間定時制の独立校であります。また、尾道市については唯一の市立高等学校である4年生の単位制の高等学校であります。創立は大正9年、本年度が103年目を迎える非常に古い伝統のある学校であります。

全校生徒については現在41名、男子生徒が25名、女子生徒が16名であります。1年生が11名、2年生9名、3年生11名、4年生10名と、各学年ほぼ10名前後で毎年推移しているという状況です。

生徒の状況ですが、小・中学校で不登校を経験している生徒、小・中学校で特別支援学級に在籍していた生徒、過年度生として高校を受け直し入学してきている生徒、ほぼこの3者のいずれかに該当しております。

卒業後の進路についてですが、昨年度につきましては卒業生10名のうち就職が5名、アルバイトの継続が3名、そしてその他の生徒が2名という内訳になっております。

今年度の4年生は10名であります。そのうち就職希望者が8名となっております。

本校のグラデュエーション・ポリシーとしては、基礎的、基本的な知識、技能、そしてマナーを身につけている生徒、自己肯定感が高く豊かな人間性を身につけている生徒、想像力が豊かで他者と協働できる生徒、こういった生徒を育成していきたいと考えております。

こうした学校状況を踏まえまして、どういった教科書が本校にふさわしいのかという観点で選定をいたしました。これについて、続けて説明をしていきたいと思っております。

教科書採択につきましては、表紙に令和6年度使用する尾道南高等学校教科用図書の採択についてという別の資料があります。こちらを御覧ください。

まず1ページ目は、今回採択をお願いする教科書の申請書となっております。詳細につきましては、後ほど説明をいたします。

続きまして、本校の教科書採択の流れです。

3ページをお開きください。

フローチャートとして本校の教科書採択の流れが出ておりますので、御覧に

なっていたらと思います。

まず、5月に決定された採択方針に基づき、校内に教科書選定会議を設定いたしております。

教科書選定会議につきましては、4ページを御覧ください。教科書選定会議等についてという別紙様式1となります。

選定については、校務運営会議が選定会議を兼ねるという状況になっております。校務運営会議のメンバーは、教務部の教務主任、生徒指導主事、進路指導主事、そして総務主任となります。あと、校長、教頭、事務長という構成メンバーにいたしております。

教科書選定に関わって、教職員以外の構成員についてですが、学校評議員を選定委員として入れております。これが4ページの②となります。

また、教科用図書について調査研究を行うために調査員を設置しております。調査員は、採択基本方針に基づき、各教科用図書について、先ほど述べました育てたい人間像、生徒像、これに照らして適切であると判断される、まず3社に絞ってまいりました。その報告を受け、選定会議において選定いたしました。選定会議は4回開催をしております。

選定した教科用図書及び選定理由書については、7ページから掲載をしております。

それでは続いて、今回の審議について御説明をいたします。

資料6ページの下側の表を御覧ください。

こちらが令和6年度実施教育課程ということになっております。昨年度から平成30年に告示された高等学校学習指導要領が施行されております。高等学校は、学年進行で新指導要領が実施してまいります。来年度は新3年生までが新学習指導要領に係る新課程となっております。そのうち、昨年度御審議いただいた教科用図書については、前年度に引き続いて使用するものも含めて、現在使用上支障がないと考えております。このまま継続を考えております。

したがって、本日は3年生で来年度新たに実施する6科目について、教科用図書について御審議をいただきたいというふうに思います。

また、新4年生につきましては、旧学習指導要領に基づく教育課程となっておりますので、教科用図書については関心・意欲・態度、思考・判断・表現、技能、それから知識・理解という4つの観点で選択をしたものについて、現在使用上支障がないと考えておりますので、このまま継続したいと考えております。

以上です。

○宮本教育長 校長先生には、尾道南高等学校の生徒の状況やグラデュエーション・ポリシー、そういったことも含めまして丁寧に御説明いただきました。

先ほどの御説明でいいますと、去年の部分は継続でということですので、3学年において、6ページの表で申し上げておりますが、ここで言う地理総合、数学A、地学基礎、書道Ⅰ、英語コミュニケーションⅡ、保育基礎、この6教科が新しい部分で、それ以外のところは去年から同じであり、教科用図書はそのまま継続して使用したいという御説明でよろしいでしょうか。

○中野広島県尾道南高等学校校長 はい、そのとおりであります。

○宮本教育長 分かりました。

ここで委員の皆様にお諮りしたいと思いますが、先ほど中野校長先生からお話がありましたように、3年生までについては新学習指導要領に基づいて、また4年生は旧学習指導要領に基づいてということのようでございます。現在使用している教科書については、特に問題がないということで御説明がございました。現在の教科書については、引き続き採択をする方向で整理させていただいてよいかどうか、またこれからは3年生について新たに採択をする6科目について質疑をさせていただくということでお諮りしたいと思いますが、それで委員の皆様よろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では、異議がないようですので、校長先生、教科科目別に選定経過等について御説明をお願いいたします。

それでは、地理歴史科の地理総合からよろしくをお願いいたします。

○中野広島県尾道南高等学校校長 では、地理歴史科の地理総合についてです。

本校で選定いたしましたのが帝国書院の教科書です。

本校に入学する生徒の多くは、不登校など様々な事情を抱えて入ってまいります。小・中学校で学ぶべき知識の理解がままならない状態というのも見受けられます。具体的に申しますと、例えば世界地図の中でインドがどこにあるかすぐにイメージできないというような生徒が入ってきているということです。

帝国書院の教科書は、地域や国ごとに学習するように構成がなされており、本校の生徒に基本的な学びを提供できるというふうに考えております。

これに対しまして他社は、国ごとというよりはテーマごと、例えば生活文化等のカテゴリーによって分類されたものを学ぶようになっており、ある程度の知識の定着が前提となっております。

そこで本校は、帝国書院のものを採用したいと考えております。

具体的には、72ページから157ページで、スクリーンに映っておりますように

国ごと、この場合は中国とか韓国というふうになるとと思いますが、国ごとに配列されているというのが特徴となります。

このように、帝国書院は国や地域ごとにまとめられておりますけれども、他社については自然、産業、言語、宗教等のテーマごとにカテゴライズされております。

先ほど申しましたように、国の位置などの基本的な知識のところから本校では学習を始めたいというふうに考えておりますので、地域や国別に配置されている帝国書院のものを採用させていただきたいというふうに考えております。

以上です。

○**宮本教育長** 地理総合について御説明をいただきました。

委員の皆様から御質問等ございましたらお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

奥田委員。

○**奥田委員** 校長先生から説明されたように、生徒の実態を考えれば、テーマごとというよりは国や地域の様子が分かりながらその国や地域の様子を理解するという、そういうつくりの帝国書院の教科書が生徒の実態にもあり、これを採用したいというところは大変よく理解できると思います。その方向で私はいいんではないかなと思います。

○**村上正則委員** テーマごとというのを、もう少しちょっと具体的に説明していただきたいんですが。

○**中野広島県尾道南高等学校校長** この帝国書院以外の他社は、自然、産業、言語、宗教というようにカテゴライズされておまして、さらにその中に地域ごとの細かいものも加わっているのですけれども、帝国書院の教科書につきましては、例えば73ページ、先ほどもお見せしましたけれども、中国と韓国というふうに分けられて教科書が構成されておるんですけれども、こういったように国ごとにカテゴライズされており、その中で文化や産業についてというふうに国ごとに学習ができると、これが本校の生徒に適しているというふうに考えます。

○**宮本教育長** よろしいですか。

○**村上正則委員** はい。

○**宮本教育長** ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○**宮本教育長** では、ないようですので、地理総合は帝国書院とすることに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 御異議なしと認め、帝国書院を採択することに決定しました。

次に、数学科、数学Aに入りたいと思います。

説明をお願いいたします。

○中野広島県尾道南高等学校校長 数学Aです。数学Aは、東京書籍の教科書を選定いたしました。

本校生徒にとって理解しやすいものを選択しております。同じ理由で、現在1年生、2年生で使用している数学Iも東京書籍のものを採用しております。

1つ目は、例えば6ページですが、集合の要素と個数という単元項目ですけれども、ここを細かく見ていただくと、例えば最初の集合Aの要素の個数を $n(A)$ で表しますという一文を御覧ください。上のほうです、そうです。集合というところにもこれルビが振ってあります。一つ一つの重要用語にルビが振ってあるというものは他社もあるのですけれども、今お示しましたように、とにかく漢字が出てきたらルビを振ってあるというところ、こういうところが本校に入学してくる生徒にとって重要な点であるというふうに考えております。

2つ目は、例えばこの集合の要素と個数という単元につきましては、見開きのページ、左側と右側でこの単元が完結するというつくりになっています。次のページも同じように個数の数え方ということですが、8ページと9ページで、この見開きで完結するという構成になってきております。これが東京書籍の教科書の特徴であり、この特徴が本校の生徒に合っているというところが2つ目の選定理由であります。

なお、QRコードが最近の教科書にはつきますけれども、この東京書籍の教科書にはQRコードがなく、その点では少し物足りなさも感じますけれども、視覚的なことよりも授業の中で実体験を積ませる、例えば角度を考えるときには外へ出て定規を使って物の高さを捉えるなど、実体験を積ませていくというのが本校の生徒にとっては理解の助けになるというふうに考えておりますので、その部分はあまり意識せずに教科書選定を行っております。

他社につきましては、やはり大学受験というのを意識されており、難易度が少し高くなっているという点で、東京書籍のこの形を選択しているということになっております。

以上です。

○宮本教育長 数学Aについて御説明をいただきました。

委員の皆様から御質問等あればお願いいたします。

○豊田委員 先ほど御説明いただきましたけれども、現在使っておられる教科書と多少内容的に差があるのでしょうか。

○中野広島県尾道南高等学校校長 現在使っている教科書との差っていうのはそんなにないんですけれども、内容的にボリュームとしては少し薄いという印象もあるんですけれども、中身については学習指導要領に沿った形と、こういう形で編集されている教科書であります。

○豊田委員 もう一つ御質問したいんですけれども、現在授業が行われている中で、教科書を使いながらのもちろん授業もあると思うんですが、プリント類を使って生徒の実態に合うようなやり方もなさっておられると思うんですけれども、その比重はどんなのでしょうか。

○中野広島県尾道南高等学校校長 基本的には教科書を使うことになっておりますので、教科書を使って学習することを前提にしておりますけれども、実際は教科書の理解を助けるプリントっていうのを教員が作りまして、ICTなどを活用し、説明を加えていくという授業が多いです。

これは数学に限ったことではなくて、全教科そういったような形で学習しているという実態があります。

○宮本教育長 ほかに。

○村上正則委員 受験対応についてはちょっと弱いんですか、どんなんでしょうか。

○中野広島県尾道南高等学校校長 大学受験ということを意識しますとかなり。

○村上正則委員 専門とか。

○中野広島県尾道南高等学校校長 専門学校、進学というふうにくくって言いますと、やっぱりちょっと弱いかなというふうな教科書を採択しているということです。

ただ、それにつきましては本校のほうでプリント学習等で対応できるだろうと。例えば、専門学校を希望している生徒ですとか大学受験を希望している生徒についてはです。取りあえず教科書としてはこういったような教科書をベースに考えておりますけれども、それ以外の部分については教科書以外のもので対応していくというふうなことを考えております。

○村上正則委員 ちょっとこれと関係ないんですけど、私の知り合いが小・中学校を全然本当に不登校で学校はあんまり行ってなかったんですけども、高校に入ってから非常に勉強が面白くなって大学進学した子がいまして、そういう子の対応もぜひよろしくお願ひしたいと思います。

○中野広島県尾道南高等学校校長 本校にもそういった生徒がおりますので、そ

の生徒につきましては進路実現ができるように学校のほうで考えていきたいというふうに考えております。

○宮本教育長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 ないようですので、数学Aは東京書籍とすることによろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 御異議なしと認め、数学Aは東京書籍を採択することに決定しました。

次に、理科、地学基礎に入りたいと思います。

説明をお願いいたします。

○中野広島県尾道南高等学校校長 地学基礎につきましては、先ほどと同じ東京書籍のものを選ばせていただいております。

この東京書籍の教科書の特徴は、まとめにかなり力点を置いているということであり、地学基礎で東京書籍を選択した理由であります。

分かりやすくまとめがなされておまして、例えば章や節でいうと、22ページですけれども、アースペディアというようなことで、これらは発展的な部分が求められているというところですが、こうした項目で各章や節のまとめがなされております。

それから、編の終わりには、例えば第1編の終わり、48ページ。必ず編のまとめというのがあり、色を変えながら学習した項目についてコンパクトにまとめられております。それに関するテストという形でその右のページがありますけれども、他社の場合は右ページと左ページが同じような内容でまとめた形になっているのですが、東京書籍の場合は文字としてしっかりまとめ直してあるということが特徴であるというふうに考えております。

そして、節ごとに発問、これは発展的な深い学びにつながっていく部分ですが、探究活動を意識されたものがあります。例えば5ページで言いますと、課題の把握を発見から課題の探求、追求というところまで、どのような流れで学習していくかがこういうふうな漫画で説明がされております。

その次のページも、同じように探究課題の解決へ向けての道筋が漫画によって示されておるというところも特徴かと思えます。

それから、各項目です。例えば60ページ、Let's Start!というところからスタートするわけですが、この下側にクエスチョンマークがついています。必ず節、項目の下にこういったクエスチョンマークによって問

題提起がなされており、それを考えていくということが最初に提示されているという形になっています。

64ページをお願いします。

これも大気の大循環というところですけども、これはどのような役割を果たしているのだろうかという問題提起がなされており、こういったような形も一つの特徴というふうになっております。

それから、170ページを。

習ったこと全てをまとめてあって、この教科書のまとめがチェック欄と共にあることも一つの特徴というふうになっております。

いろいろなものを自分の頭の中で整理をしていくことがなかなか難しいということなので、このように既に整理されたものを使うということが生徒の助けになるというふうに考え、東京書籍のものをまとめが充実しているという観点で選択をしております。

以上です。

○宮本教育長 地学基礎について御説明をいただきました。

委員の皆様から御質問等がございましたらお願いいたします。

○村上節子委員 学校の生徒さんたちに、この教科書を使ってどのような力をつけてもらいたいというふうに思っていますか。

○中野広島県尾道南高等学校校長 やはり、社会に出る上で基礎的な力をつけたいというふうに考えております。

例えば、近年気象災害が増加しておりますけれども、そうしたものに対する防災意識であるとか、このような地学基礎を通してそういった意識を身につけさせたいというふうに考えております。

○宮本教育長 ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 ないようですので、地学基礎は東京書籍とすることに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 御異議なしと認め、東京書籍を採択することに決定しました。

次に、芸術科、書道Ⅰに入りたいと思います。

説明をお願いいたします。

○中野広島県尾道南高等学校校長 書道Ⅰにつきましては、光村図書の教科書を選ばせていただいております。

古典作品の学習の際に、一部分を拡大した文字を示して解説がされております。

す。この教科書は全てこのパターンで構成されておりますので、練習用には非常によいというふうに考えております。

例えば、30ページに孔子廟堂碑というのがありますが、これをテーマに書道Ⅰの学習を進めていくときに、その次のページに拡大したものがこのような形で書いてありまして、このページの左側には今度は文字を書くに当たっての注意点が書かれております。

この教科書については必ずこういったような形で、その次の34ページもこのように古典を取り上げたら、その次のページで清い泉という字が拡大され、書き方についてはその次のページで説明をしてあると、こういったようなパターンで学習していくこととなっております。これは本校の練習用に非常によいというふうに考えております。

それから、26ページ。

これは全て楷書ですけれども、楷書がA B C Dというふうに4つ並べて書かれております。同じ楷書の作品でも様々な種類の中で生徒にフィットするものが選べる工夫がしてあり、この4つの中から自分の気に入った書体、これを選んで書いていくという授業が展開できるということでもあります。

それから、篆刻についても彫り方が写真入りで示してあります。篆刻は本校でも実施しておりますけれども、最初のところに篆刻刻字ブックという篆刻に特化した別冊がついておりまして、これを基に彫り方や刻字についても資料がありますので、特化した授業の展開が可能になるというふうに考えております。

それから、生活における書についても巻末資料にまとめてあり、例えば礼状の書き方、冠婚葬祭のときののし袋の書く字、手紙・封書の書き方、履歴書の書き方、送り状の書き方、これらが巻末にまとめてあるので非常に使いやすくなっております。

他社については、文字量が非常に多く情報量が多過ぎるということを本校書道の教員が言っておりました。生徒にはできるだけ情報量を絞った教科書を選ぶというのが、どの教科でもそういったようなことを意識して選んでおります。書道についても同じような形で選んでおりますので、この光村の教科書に選定をいたしておるということでもあります。

以上です。

○宮本教育長 書道Ⅰについて御説明をいただきました。

委員の皆様から御質問等がございましたらお願いいたします。

○奥田委員 校長先生から説明がありましたが、書の古典を学ぶ上で非常に基本

的な説明、流れを分かりやすく生徒は学ぶことができるという編集であるということ、そして南高校の文化祭では書道の作品も展示しておられますが、そういう生徒が実際に書道を書く上で、この教科書は有効であるというふうに理解されておられるという把握でよろしいでしょうか。

○中野広島県尾道南高等学校校長 文化祭の展示は、学んだことの発表の場として位置づけてあります。見開きで学習内容がまとめられているこの教科書は、学ぶことが分かりやすくまとめられており、ポイントを押さえた学習ができるというふうに考えております。

さらに、学びのポイントを押さえた作品を制作し、その発表ができるというふうに考えておりますので、そういった展示の場でも有効であるというふうに考えております。

○宮本教育長 よろしいでしょうか。

○奥田委員 はい。

○宮本教育長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では、ないようですので、書道Ⅰは光村図書とすることに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 御異議なしと認め、光村図書を採択することに決定しました。

次に、外国語科、英語コミュニケーションⅡに入りたいと思います。

説明をお願いいたします。

○中野広島県尾道南高等学校校長 英語コミュニケーションⅡにつきましては、三省堂の教科書を選ばせていただいています。

これまで学習している英語コミュニケーションⅠが三省堂であり、その流れをくむという意味もあります。

これは、受験ベースではなくコミュニケーションベースで内容にリンクしたトークが取り入れてある教科書です。授業では、補助的に片仮名の振り仮名のついたプリントを読ませるといようなことをやっております。三省堂の教科書は、レッスン1からレッスン8というふうに8つに分かれております。

他社は、この項目が10とか12というふうに非常に多くなっております。それだけでも文字量が大きくなっています。

本校では、受験をあまり意識せずコミュニケーションベースで考えているため、項目的には少ないんですけど、8項目のものを選んでおります。中身についても、文字数をできるだけ抑えているものを採用しております。いずれに

しても、コミュニケーション活動に重きを置いているということです。

そして、8ページ、9ページをお願いします。

これはセクション1ですけれども、やはり本文が左側にあって右側にCHECK!、TALK!、STUDY IT!、こういう形で全てが見開きで完結しております。次のページのセクション2もそうですし、以降も同じような形で見開きで完結をするということになっています。

本校の場合は、1つの項目を細かく何ページもというよりは、見開き1ページで完結しているものを採用したいというふうに考えております。英語についても同じように見開き完結のものを選ばせてもらっているというのが選定理由の一つであります。

また、24ページ。

これは小さい字ですが、上から3行目に11ページというふうに書いてありますが、この11ページというのは何かと申しますと、11ページのセクション2でhow to doという学習をしているのですが、それを使ったものが24ページに出てきていることを表しています。

このように、既習事項が後半のセクションでも出てくるというのがこの教科書の特徴であり、一旦習ったものを後の本文でもう一度使って復習ができる形になっています。既習事項が次のレッスンで使用されているということも特徴で、この教科書を選んだ理由の一つであります。

以上です。

○宮本教育長 英語コミュニケーションⅡについて御説明をいただきました。

では、皆様から御質問等があればお願いします。

○村上正則委員 英語科目は、帰って予習とか復習をしようと思っても発音自体が分からないとなかなか難しくなると思うんですけども、この教科書の場合デジタルコンテンツ、音声とか動画です、その充実度とか、それはどうなんでしょうか。

○中野広島県尾道南高等学校校長 QRコードというのがついています。これは音声学習の助けになっていると思います。

本校では、やはりプリント学習が多くなっておりますので、例えば22ページにNext Questionという文が一番最初にありますがけれども、これをプリントの中ではネクストクエスチョンという片仮名をつけて、振り仮名を振って先生が作っているプリントを配って提示して見せるという形にしています。

これに加えて、デジタルコンテンツで発音を利用することによって実際の発

音も学ぶことができると、こういうふうなスタイルを取っています。

以上です。

○宮本教育長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では、ないようですので、英語コミュニケーションⅡは三省堂とすることに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 御異議なしと認め、三省堂を採択することに決定しました。

次に、家庭科、保育基礎に入りたいと思います。

説明をお願いいたします。

○中野広島県尾道南高等学校校長 保育基礎につきましては、教育図書の教科書を選ばせていただいています。

こちらは、写真とイラストが大きくて分かりやすいということ、それから重要用語にはアンダーラインが引いてあること、例えば5ページ、項目の初めにはこういったイラストが必ずついているということが選定理由の一つであります。漫画で今からこういうことを学ぶんですよという方向性が示してあるということで、非常に学びやすくなっていくというふうに考えております。

そして、項目ごとに問題提起がやっぱりされております。クエスチョンという部分ですが、ここで問題提起がされているということになります。例えば47ページ、乳児の心身の発達において、一目で1歳までの乳児の成長がきれいにまとめられており、こうした分かりやすさも選んだ特徴の一つであります。

また、52ページをお願いします。

子供の養護について非常に詳しく扱っております。1年生の家庭総合という科目で生活を扱うのですが、他社は保育基礎においても生活と養護という形で一緒に扱っています。

教育図書では、より詳しく子供の養護について論じるため、家庭総合で行う生活の部分あるいは文化の部分を省略して、特化して子供の養護ということについて扱っています。こちらのほうが本校の生徒には適しているというふうに考えています。そして、教育図書のほうが他社に比べて文字数が少ないというのも選択理由の一つであります。

本校において、家庭生活というものを重視して、1・2年生では衣食住について、3・4年生では家庭、家族や子育てについて学ばせていこうという方向でおりますので、教育図書を選択したということでございます。

以上であります。

○宮本教育長 保育基礎について御説明をいただきました。

委員の皆様から御質問等があればお願いいたします。

○豊田委員 大変見やすい、見て分かりやすい教科書だなと思って見せてもらいましたが、南高の生徒にこういう教科書を使ってどういう力をつけようとなさっておられるのでしょうか。

○中野広島県尾道南高等学校校長 やはり、将来子供に接するとき、こういったときにしっかりと理論を持った上で接するということができるようになってほしいと考えております。

また、保育基礎の学習を通して他者への思いやり、こういったような心も育成していきたいというふうに考えております。

○宮本教育長 よろしいでしょうか。

ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では、ないようですので、保育基礎は教育図書とすることに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 御異議なしと認め、教育図書を採択することに決定しました。

以上で令和6年度に新学習指導要領に基づいて新3年生が新たに学習する6科目の教科用図書が決まりました。

次に、その他の科目で使用する教科用図書についてでございますが、先ほどの中野校長先生からの説明では、現在使用している教科用図書で特に支障がないということでした。

現在使用している教科用図書を資料1ページの表を基に確認をいたしますと、1年生では、現代の国語は第一学習社、公共は第一学習社、数学Ⅰは東京書籍、化学と人間生活は東京書籍、保健体育は大修館書店、美術Ⅰは日本文教出版、英語コミュニケーションⅠは三省堂、家庭総合は教育図書、学校設定科目である情報基礎は日本文教出版です。

2年生では、言語文化は第一学習社、歴史総合は帝国書院、生物基礎は東京書籍です。数学Ⅰ、保健体育、英語コミュニケーションⅠ、家庭総合、情報Ⅰにつきましては、1年次で購入した教科用図書を引き続き継続して使用しています。

なお、情報Ⅰの教科用図書につきましては、1年生で学校設定科目である情報基礎において既に使用しているものであります。

3年生では、先ほど採択された6科目に加え、2年次からの継続として文学

国語は大修館書店、体育は大修館書店、学校設定科目である情報演習は日本文教出版の教科用図書を継続して使用します。情報演習も2年次の情報Ⅰの教科用図書を使用します。

4年生では、国語表現は教育出版、現代社会は第一学習社、学校設定科目である数学探求は東京書籍、地学基礎は東京書籍、コミュニケーション英語Ⅱは三省堂、子ども文化は教育図書、情報の科学は実教出版、現代社会、コミュニケーション英語Ⅱ、情報の科学については、3年次に購入したものを引き続き継続して使用します。

また、数学探求の教科用図書につきましては、3年次で数学Aにおいて既に使用しているものを継続して使用します。

以上、現在使用している教科用図書を引き続き採択することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○**宮本教育長** 御異議なしと認め、先に決定した6科目を除くその他の科目の教科用図書については、現在使用している教科用図書を引き続き採択することに決定しました。

中野校長先生、長時間にわたりありがとうございました。

○**中野広島県尾道南高等学校校長** ありがとうございました。

○**宮本教育長** 以上で議案第40号の審議を終了いたします。

議事の都合により、暫時休憩いたします。

再開は午後1時からといたします。

午後0時00分 休憩

午後1時00分 再開

○**宮本教育長** それでは、休憩前に引き続き会議を再開します。

議案第41号令和6年度に使用する小学校教科用図書の採択についてを議題といたします。

提案理由の説明をお願いします。

○**石本教育指導課長** 教育長、教育指導課長。議案第41号令和6年度から使用する小学校用教科用図書の採択について提案理由を御説明いたします。

議案集21ページを御覧ください。

令和5年度をもって、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令第15条に定める同一の教科用図書を採択する期間が終了するため、尾道

市教科用図書採択に関する規則第2条の規定により、令和6年度から使用する小学校用教科用図書について採択を求めるものでございます。

この選定委員会審議結果報告書は、5月の教育委員会会議において決定された本市の採択基本方針の2、採択基準に基づいて調査研究を行い、尾道市教科用図書採択事務に関する規則第3条第1項の規定により、選定委員会からの報告のあったものでございます。

ただし、理科と生活科の信州教育出版社については、見本本が届いていないため、第1回教科用図書選定委員会により審議の対象としないことを確認しております。そのため、審議報告書に記載はございません。この後、審議結果を報告しますので、種目ごとに御審議いただければと考えております。

また、教科書展示会におけるアンケートについては、選定委員、教育委員会委員の皆様にご覧しております。

それでは、ただいまから令和6年度尾道市立小学校で使用する教科用図書について、これまでの選定委員会の審議内容を踏まえ、選定委員会で作成された報告書に基づいて説明いたします。

報告書は、教育委員会会議で議決された採択基本方針の採択基準に定められた第1から第5までの観点に沿ってそれぞれの特徴を表したものを総合的な所見の中に記載しております。また、特に他の発行者と比較して評価できると考えたものには所見の前に丸をつけ、その他のことについては中点で示しております。

ただし、尾道市の採択基本方針に基づき、尾道教育総合推進計画の基本方針や重点目標との関連を考慮していること、またそれぞれの教科や種目の特性から一つ一つの観点を重みが均一であるとは限らないことから、丸の数と総合的な評価が必ずしも比例するということにはなりません。特に尾道の子供が学ぶのにふさわしいものに丸をつけております。

それでは、これから各教科、種目ごとに、それぞれの発行者の中で丸をつけたところとその理由を御説明申し上げます。よろしくお願いいたします。

国語についてです。

報告書の43ページから44ページを御覧ください。

国語の教科用図書の発行者は3社です。全ての発行者について調査、審議をした結果、特徴的であると評価した各社の観点について報告します。

審議報告書を御覧ください。

各社の特に特徴的な項目を読み上げます。

東京書籍につきましては、第1の観点の①と第2の観点の④と第4の観点の

⑨、教育出版につきましては第1の観点の①と第4の観点の⑨、光村図書につきましては第1の観点の①です。

選定委員会での審議の結果、特に特徴的であると評価したものを具体的に説明します。

各社の特に優れた点を御説明いたします。

まず、東京書籍です。

第1の観点、ア、基礎基本の定着、①単元の目標の示し方、単元で身につける資質能力を言葉の力として示すとともに、単元末ではふり返るで学びを定着させるように工夫されています。また、1年間で学習する言葉の力をロードマップで示すことで、各単元の学びのつながりを実感できるようにしております。

具体的には、2年生の上、38ページを御覧ください。

言葉の力として、単元で身につける資質能力が示されて、38ページのたんぼほのひみつを見つけよう、言葉の力として順序を考えて読むと示されています。続いて、48ページ、ふり返るというページがあります。どんな言葉を基に順序を考えましたか、単元の後に振り返ることは重要です、このように設定をされています。

続いて、第2の観点、イ、主体的に学習に取り組む工夫、興味関心を高めるための工夫です。SDGsをはじめ様々な現代的諸課題の中で、児童に主体的に思考させることのできる教材を取り上げています。また、特設コラムで、未来を切り開いていく意義について各界の著名人のメッセージを掲載しています。

それでは、6年生の170ページ、発信しよう私たちのSDGsを御覧ください。

6年生の170ページには、発信しよう、私たちのSDGsというページがございます。現代的な課題ということで取り上げられております。少し戻りますが、108ページ、平和について考える、このようにメッセージも記載がされています。こういうページが特徴的と上げられています。

続いて、第4の観点、エ、内容の表現、表記、⑨本文記述との適切な関連づけがなされた図、表等の活用についてです。

児童が読みやすい分量の文章と写真や図が結びつけられており、内容を理解しやすくなっています。挿絵や学習の手引の内容が、その教材を使って学ばせたいことに迫るものになっています。

これは、5年生の92ページ、新聞記事を比べてみようを御覧ください。

左側に実際の新聞記事の写真が出ています。このように両面で見えやすくなっております。

続いて、4年生の下、36ページです。

ごんぎつねの教材が掲載されております。どの社にもごんぎつねは掲載されております。本文は同じですが、各社の挿絵が違ってしております。また、56ページ、取り組むということで、人物の気持ちの変化を伝え合おうという扱いも見られます。このように、内容を理解しやすくなっているという特徴が上げられております。

東京書籍については以上のような具体例でございます。

続いて、教育出版です。

第1の観点、ア、基礎基本の定着、単元の目標の示し方、学習の目当てとどのような言語活動を通じて学ぶのかを示し、目標とする力を身につけるためのポイントを短い文章で示すことで、どんな学びを行ってどんな力がつくのかが分かるように整理されております。

それでは、2年生上の41ページを御覧ください。

単元名の前に目当てが示されてあります。

また、47ページ、学習のてびきを御覧ください。

たしかめよう、くわしくよもうと、この手引の示し方が優れているということが上げられております。

また、49ページ、ここが大事ということが書いてあります。

何がどうするに気をつけて読むというように具体的に書いてあり、知識、技能を測る部分を評価されておりました。

続いて、第4の観点です。エ、内容の表現、表記、9番の本文記述との適切な関連づけがなされた図、表等の活用です。

写真やグラフだけでなく、様々な資料を活用する学びが工夫されておりました。QRコードからNHK for Schoolなどの動画を視聴できるようになっています。

5年生下の12ページから17ページ、資料、白神山地の課題を知るというところを御覧ください。

白神山地の課題を知るということで、資料1から7、様々な資料を使って多角的に課題を考えられるように工夫がされております。地図があったり写真があったり、またQRコードもあります。

以上が教育出版の評価した観点についてでした。

続いて、光村図書です。

第1の観点、ア、基礎基本の定着、1、単元の目標の示し方です。学習の流れを示したページに問いと目標を並べて示し、児童に問いを喚起し、目標へとつなげることができるように整理しています。また、たいせつというコーナーが設定され、学習内容の要点を定着させる工夫があります。

それでは、2年生上の52ページ、学習のページを御覧ください。

問いを持とう、それから何をするかという課題について目標が示されています。また、その課題の下にヒントといますか、この課題を達成するための要点が示してあります。

そして、続いて54ページ、たいせつということがあります。ちょっと御覧ください。たいせつというコーナーがあります。説明する、文章を読む、これも知識、技能を定着させることに有効であると選定委員会では評価がありました。

以上3社について優れたところであるという特徴を御説明申し上げました。

国語は以上です。

○宮本教育長 それでは、御意見、御質問はいかがでしょうか。

○豊田委員 今御説明いただきましたが、とりわけ光村図書のほうで、光村は問いを持たせて問題解決的な学習に持っていくような形をとっておりますが、そういう問題解決に向けて考えるということや、それから学び方を学ぶ、とりわけこれがこれからは必要となるんだと思うんですけども、そういった点で光村で工夫されている点がありましたら一、二教えてください。

○石本教育指導課長 光村図書は、問いを持つことを大事にしているのが特徴ということで、選定委員会でも協議になっておりました。思考を始めるためには、まず問いを持つことが大切です。この問いを持つことを大切にされているということです。単元の初めにしっかりと問いを意識して取り組む、そして自分から問いを明らかにしようという学習の工夫が見られるということが話に出ております。

以上です。

○豊田委員 学び方を学ぶという点ではどうでしょう。国語の中で、学び方を学ぶという点については、光村で工夫されている点といえばどんなことでしょうか。

○石本教育指導課長 学び方を学ぶというような意味合いでは、先ほど説明させていただいた2年生上の52ページの見通しを持とうというところが関わるのではないかと考えております。

ここに、やはり先ほども選定委員会での評価のところにもありましたが、捉

えよう、深めよう、まとめよう、広げようというふうに、この単元の学び方について記載されているということが分かります。

○**豊田委員** はい、ありがとうございました。

○**宮本教育長** よろしいですか。

○**豊田委員** はい。

○**宮本教育長** ほかにいかがでしょう。

○**村上正則委員** 今の説明では、東書だけが丸3つと、ほかは2つずつだったですか、あるんですけども、やはり東書が優れている点があれば教えていただきたいんですが。私は教育出版のほうもかなりいってるのかなとは思んですけども、よろしくをお願いします。

○**石本教育指導課長** 東京書籍につきましては、子供が思考をする、考えるような題材が多く設定されておりまして、子供たちが発達段階に応じて興味を持って思考したりするなど、主体性が高まる点が特徴であると調査員からは報告を受けております。

また、東京書籍が扱っている文学作品が普遍的な作品で、宮沢賢治の作品などしっかりと入っているということ、また学習の手引きにおいては物語の構造をつかんで登場人物の変化を読み取らせ、焦点化された問いがその中にきちんとつくってあったり、他社に比べて挿絵が一貫してタッチが優しかったりすること、また挿絵を効果的に使っているということが協議にありました。このような点を選定委員会では評価されていました。

以上です。

○**村上節子委員** 尾道の子供たちにつけさせたい国語の力っていうんですか、それはどの教科書がふさわしいって思われていますか。

○**石本教育指導課長** どの教科書も思考力、表現力や問題解決力、科学的な思考力の育成など工夫されておられます。

その中でも、東京書籍の教科書は、日常生活の中で問題場面、問題状況を解決するための方法を身近な場面を想定して教材として取り上げているなど、学びたくなるという意見が出ております。学習の動機づけ、導入の工夫もよいということが出ております。また、発達段階に応じて興味を持って子供が思考したり、文章を読みながら考え、子供たちの主体性が高まると考えられる点が特徴として上げられていました。このような点が協議の中では上がってございました。

以上です。

○**奥田委員** 説明にもありましたが、東京書籍の場合はいろいろ現代的な課題を

取り上げて、それからいろいろ議論をさせるという、そういう全体のつくりがあるように思いました。

ただ、国語を文章で鑑賞するというだけじゃなくって、その題材からどういう課題があり、そしてそのことについて解決するためにはどうしたらいいか議論をして、そして自分なりの考えをまとめる、まさに今授業で求められているような、そういう思考力、判断力、表現力を総合的につける教科書として東京書籍はやはり優れているのかなというふうに思いました。

以上です。

○宮本教育長 村上正則委員さん、先ほど教育出版っておっしゃってましたけど、そのあたりをもう少し教えていただけますか。

○村上正則委員 教育出版の5年生で、金子みすゞの「みんなちがって みんないい」という読み物があるんですが、これは光村のほうにもありまして、光村のほうはただその詩が書いてあるだけ、教育出版のほうは金子みすゞの生い立ちとか、ちょっと伝記風になっておりまして、要は大正から昭和にかけてこんなことが言えた人がいるんだということにもびっくりするわけで、それと現代的な課題のLGBTとかいじめなどの問題、それと憲法の基本的原理の優劣をつけない、平等であるとかという問題にも深く関わるような感じで子供たちにぜひ読んでほしいと思っております。

私は、教育出版のほうぜひ尾道の子には読んでほしいので、これは教育出版がいいのではないかなと思っております。

○宮本教育長 今、東京書籍、それから教育出版、それぞれ御意見が出ましたけれども、ほかの委員さん、いかがでしょうか。

○奥田委員 村上正則委員さんの言われるように、この金子みすゞの教材は本当にすばらしい教材だと思います。

ただ、教科書選定をするときには、1年生から6年生までトータルの中でどれが優れているか、子供たちに力をつけさせるためにはどの教科書がベストかという、そういう観点が私は大切だと思いますので、確かに本当にいい教材、いろいろ教科書の中で、ほかの教科書等も、ああこれはすごくいい教材だなあと思いつつも、やはりトータルで見るという観点も必要ではないかと思っておりますので、そういうふうに私は思います。

○宮本教育長 豊田委員、いかがでしょう。

○豊田委員 先ほど村上正則委員さんも奥田委員さんもおっしゃられたように、確かにこの金子みすゞの旅というテーマで、作品も幾つか載っておりますし、それから金子みすゞの物の考え方であるとか思想性であるとか、そういったも

のもこれを見ると非常に詳しく書かれていて、この教材だけと言われたらぜひ読ませたい、この教科書を採択してというような気もいたしますが、総合的に考えたときに、現代社会というよりか現代教育が目指している問題解決的な学習であるとか、そういったことを考えたときに、東書がやっぱりいいのかなというふうな気はします。

でも、それは単元やら学年にもよって違いますけれども、教科書会社が指導要領に基づいて国語の教科書を構成する上においては、総合的には東書がいいのかなというふうな気もいたしますが。

○宮本教育長 村上節子委員。

○村上節子委員 先ほど私が質問させてもらった、国語の力をつけていくためにはどの教科書がふさわしいですかという問いに対して、どの教科書もすごくいいんだけど、その中でも東書の教科書っていうのは、日常生活の中での問題の場面とか問題状況を解決するための方法が身近に取り上げられているという問い、答えだったので、それを聞くと東京書籍がいいのかなというふうに思います。

○宮本教育長 今、各委員さんの御意見を伺っておるんですが、トータル、総合的に考えると東京書籍が尾道の子供たちにとってはよりいいんじゃないかという、そういう御意見が多かったように思うんですけども、いかがでしょうか。

よろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では、賛成多数ということで東京書籍を採択することに決定いたしました。

では次に、書写に入ります。

説明をお願いいたします。

○石本教育指導課長 それでは、書写の説明をさせていただきます。

報告書の45、46ページを御覧ください。

書写の教科用図書が発行者は3社です。全ての発行者について調査、審議をした結果、特徴的であると評価した各社の観点について報告いたします。

書写の審議報告書を御覧ください。

各社の特に特徴的な項目を読み上げます。

東京書籍は第1の観点の②と第3の観点の⑤、教育出版は第1の観点の①と第3の観点の④、光村図書は第1の観点の②と第5の観点の⑦です。

選定委員会での審議の結果、特に特徴的であると評価したことを具体的に説

明いたします。

まず、東京書籍です。

第1の観点、基礎基本の定着②、姿勢、点画の書き方、用具の扱いの示し方です。最初の単元では、書きやすい姿勢、これは足、背筋、手といった姿勢を意識するためにリズムカルな標語で色を使って分かりやすく示しているということです。

1年生の2ページから5ページを御覧ください。

3ページのほうを御覧いただくと、背中ピン、足はペタ、手はトン、こういった擬音を使った工夫をしております。子供たちに分かりやすいこういった学習を進めていくと効果があるという話が出ております。

続いて、第3の観点、ウ、内容の構成、配列、分量、伝統と文化に関する内容の記述についてです。様々な観点から文字文化に触れるページを複数取り入れ、児童の文字への興味関心を高め、学ぶ意欲を高める工夫をしております。

5年生の26ページです。

書いて味わおう日本の古典ですけれども、国語では口で読む教材ですが、書写は書くということの意味を味わう、また文字文化に触れることが探求的な学習につながると考えられるということでした。

38ページ、世界の文字文化、我が国のそれぞれの固有の文字文化があるということを知る工夫がこのページにはあるということが出ております。

続いて、教育出版です。

第1の観点、ア、基礎基本の定着、単元、題材の目標の示し方についてです。学習の初めと終わりに、書こうとして試し書きとまとめ書きのコーナーを設けることで、自分の課題に気づき、成長を振り返ることができるようになっていきます。

5年生の17ページを御覧ください。

下の欄に、学習の初めと終わりに書こう、これを比較することで自分の学びのメタ認知、自分自身の成長が実感できる、新たな学びの動機づけにもつながっていくということが上げられました。

第3の観点、ウ、内容の構成、配列、分量、単元等の配列、分量です。

理科のノート例を示し、学習内容が分かりやすいノートの書き方や色使いの工夫の仕方を示すなど、書写で習得した力を教科横断的な学習活動や日常生活に活用できるようになっております。カリキュラムマネジメントにも配慮したものになっているということで、4年生の29ページを御覧ください。

理科のノートの例が示されています。学習の中で活用されているということ

で、評価できるという話になりました。

続いて、光村図書です。

第1の観点、ア、基礎基本の定着、姿勢、点画の書き方、用具の扱いの示し方です。最初の單元では、タブレットを活用しようのページが掲載しており、QRコードの活用方法を写真や資料で示しています。

1年生の4ページを御覧ください。

QRコードの活用方法ということで資料で示しています。

じゃあ、ちょっと動画もあるようなので見てみます。

〔動画視聴〕

○石本教育指導課長 このようにQRコードから動画の視聴もできるようになっています。

続いて、第5の観点です。言語活動の充実、学習や日常生活に生かす言語活動の工夫です。日常生活の各活動を教材として取り入れています。特に6年生の書写ブックは、小学校の書写学習の総まとめになっており、学んだことを活用することに有効なものになっています。

4年生の28ページを御覧ください。

様々な目的に応じて、日常生活の各場面での活用に広げていこうという工夫がされています。

それから、6年生の21ページから28ページです。

書写ブックというのがありまして、日常生活の各場面で活用に広げていこうという工夫が見られるということです。

以上、3社の説明を終わります。

○宮本教育長 それでは、委員の皆様から御意見、御質問はございませんか。

○村上正則委員 書写の場合は、実技的な面が非常に多いと思うんですけども、その中でQRコンテンツといたしますか、デジタルデータの活用が大変優位になると思うんですけども、その点どのような特徴があるんでしょうか。

○石本教育指導課長 デジタルコンテンツについてですが、書写はやはり知識、技能の内容を教えるということが難しい場合もあります。担当者の得意ってところもあると思っています。

教育の質の保障という意味では、このQRコンテンツというのは有効であるという話が出ております。東書のQRコンテンツの内容については、充実されているということもありました。

具体的には、使いやすさがあるということで、QRコンテンツの中で漢字同士の大きさやレイアウト、また文字のバランスを考えることができるというQ

Rコンテンツもあるということでした。

では、ちょっとそこを見て。

[動画視聴]

○石本教育指導課長 実際に書いているところを見せるQRコンテンツは、各社ありました。

[動画視聴]

○石本教育指導課長 このように、漢字同士の大きさやレイアウトのバランスを変えてみることでバランスを考えることができる、この機能については東京書籍のみ見られた機能ということでした。

○宮本教育長 いかがでしょうか。

○奥田委員 選考委員会でも3社とも丸が2つずつということで、あんまり差がないという評価で、書道のような、書写のような実技的なものについてQRコードもそれぞれ充実しており、すばらしい出来だなというふうに思いました。実際に映像も見せてもらいましたけども、ああいうふうな形で映像があると、書く側としても非常に参考になるというふうに思いました。

ただ、東京書籍は少し文字の大きさを調整したり、いろいろ考えることができるという、そういう点でQRコンテンツとして他社より優れているという御指摘でした。

私のほうから、併せてちょっと1点お聞きしてみたいんですが、国語の教科書と書写の教科書について同一の場合、そうでない場合、同一のもののほうが幾らか有効性があるのかどうなのか、そのあたりについてちょっと見解をお聞きしたいんですが。

○石本教育指導課長 選定委員会のほうでも議論になりましたが、国語の教科書と書写の教科書、同一のものを使ったほうが有効であるという意見が出ました。低学年の教科書においては、同じ写真が国語と書写で使用されているなど関連づけがなされているということです。したがって、国語の教科書と書写の教科書はそろえたほうが有効性が高いのではないかという議論になっております。

○豊田委員 東書の書写の本、5年生ですか、見せてもらったんですが、古典を取り上げて、竹取物語であったり奥の細道であったり、そういったものを読んで味わうということと、今度は書いて味わうということで、非常に私は興味を持って見せていただきました。そういった古典に触れるとか、それから日本の文字の歴史に触れていくとか、それは書写を通して十分にできていくんだなということ強く思いました。

それから、光村の場合は、書写であってもやっぱり学習の進め方であったり、それから見通しであったり、目当てをつくって書いていくとか、そういった手順を明確にしてあるところがすばらしいなと思いました。

両社ともなかなかよくできているなというふうに私は思いました。

以上です。

○村上節子委員 私は、東京書籍の文字文化に触れるページを複数取り入れているという点で学ぶ意欲を高める工夫があったり、先ほど豊田委員さんが言われたみたいに竹取物語とか奥の細道をなぞり書きしたりして、古文を味わうという工夫があるっていうことから、歴史とか文化を大切にしている尾道の子供たちの学ぶ意欲を高めることができるのではないかなと思います。

○宮本教育長 ほかにはいかがでしょうか。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 今の御意見をお聞きすると、東京書籍を評価する声が多いように思うんですけども、書写については東京書籍ということで御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では、御異議なしと認め、東京書籍を採択することに決定いたしました。

次に、社会に入ります。

説明をお願いいたします。

○石本教育指導課長 それでは、社会科について説明いたします。

報告書の47から48ページを御覧ください。

社会の教科用図書の発行者は3社です。全ての発行者について調査、審議をした結果、特徴的であると評価した各社の観点について報告します。

審議報告書、社会を御覧ください。

東京書籍、第2の観点の④、第4の観点の⑦、第5の観点の⑩、教育出版、第2の観点の④、第3の観点の⑤、日本文教出版、第3の観点の⑤、第4の観点の⑦です。

選定委員会の審議の結果、特に特徴的であると評価したものを具体的に説明します。

まず、東京書籍です。

第2の観点、主体的に学習に取り組む工夫、課題の設定、整理、分析、振り返りを展開するための構成上の工夫です。毎時間ごとに学びのポイントを示

し、課題解決のための具体的な視点を明確にしているところです。

3年生の42ページを御覧ください。

学びのポイントが下に、コラムが書いてあります。写真を見て具体的に活動の指針が示されております。また、地図やグラフの活用、そしてここがポイントってということが明確に記されているということです。

続いて、第4の観点、内容の表現、表記、本文記述との適切な関連づけがなされたイラスト、写真などの活用です。

QRコンテンツでは、見通しを持って学習が進められ、実感を伴った理解を促しています。図や表を有効に活用するよう工夫されています。

5年生の下、自動車をつくる工場の10ページから23ページを御覧ください。

まず、13ページ右下のところでは。

見通しを持ってということで、QRコードがあります。学習の見通し、それから学習の進め方という内容があります。動画がある。

[動画視聴]

○石本教育指導課長 2分程度にまとめられております。どういうふうに学んでいくか、口頭、プリントの文字よりも分かりやすくデザインされた資料で見えていくのかということが優れている点と捉えられています。ありがとうございます。かなりのページに参照できるQRコードがついているのも特徴です。

第5の観点、オ、言語活動の充実、観察調査や資料活用を通して収集した情報を基に相互の考えを深めていくための工夫があります。つかむ、調べる、まとめる、生かすといった探求の基本的な進め方を示しています。キャラクターのせりふを目印としています。キャラクターをモデルとして社会科の見方、考え方を使得って探求的に学んでいく方法が分かりやすく示されています。

社会科では、どんなふうに見るのか、考えていくのか、実際に実現されるように工夫されています。また、学習の成果の様々な表現方法を示しております。レポートや発表などの方法も示されています。

5年生の上の24ページを御覧ください。24、25ページです。

つかむ、調べる、まとめる、生かすまで示されています。学校で学んだことを日常生活で生かす、学校の学習だけで終わらない学びの工夫が示されています。

また、72ページです。

キャラクターのせりふとして、具体例としてこういったことを考えていく、また注目していくということが社会科の見方、考え方なのであるということが示されております。

では続いて、教育出版です。

第2の観点、主体的に学習に取り組む工夫、課題の設定、整理、分析、振り返りを展開するための構成上の工夫です。毎時間ごとに活動の流れや学びの手引きを示し、児童に学習の見通しを立てやすくしております。

3年生の24ページを御覧ください。

24ページ左のところに、つかむ、調べる、まとめる、活動の流れが示されています。見通しが立てやすい示され方になっています。

それから、5年生の76ページです。

こちら左側に学習の流れが示されております。また、やってみようということで、学習の見通しを持つということにもつながっています。

あわせて、82ページも御覧いただけたらと思います。

学びの手引きというコーナーがあります。背景色をつけたところで、学びの支援となるように手引きが示されております。

続いて、第3の観点です。内容の構成、配列、分量、単元や資料等の配列、分量です。選択教材を多く設け、児童の興味関心や地域の実態に応じた学習を行うことができるようにしています。これらの教材は、アクティブラーニングで活用可能であると考えられます。また、知識構成型ジグソー法などを活用して学びの幅も広げようとしているということも考えられます。

5年生の目次で御確認をいただきたいと思います。

右側の読み取るの中に、様々な資料を読み解くことが示されています。学びの成果を発表し、振り返るが、ここでも発表の方法が示されております。集める、調べるということがとても重要で、こうしたことに工夫が見られます。

続いて、日本文教出版です。

第3の観点、内容の構成、配列、分量、単元や資料等の配列、分量です。未来につなげる私たちのSDGsとして、各単元ごとに内容とSDGsをつなげるページが設けられていて、歴史で学習したことが現代の生活とどうつながっており、どのように生かしていくのかが分かりやすくなっています。

6年生の272ページを御覧ください。

このSDGsとのつながりというのは、各内容単元ごとに設定されているのも特徴です。

続いて、第4の観点です。内容の表現、表記、本文記述との適切な関連づけがなされたイラスト、写真等の活用についてです。

QRコンテンツでは、社会的な見方、考え方を働かせながら見通しを持って学習が進められ、実感を伴った理解を促しています。

5年生の144から159ページを御覧ください。

左上に、読み取るということでQRコンテンツがあります。これをちょっと見ていただいているいいですか。

[動画視聴]

○石本教育指導課長 このようになっております。

地図の読み取り方というような内容がQRコンテンツのほうにも入っております。また、ワークシートのようなものも入っているものもあります。学習計画であったり、学習の見通しがあるコンテンツなどもあります。

また、組立工場の中の様子など、教科書には紙面に限りもありますので、画像のデータを資料としてつけることで具体がイメージされるようになっている特徴があります。

なお、選定委員会では、3社教科書を見ていく上で特定のイデオロギーをもって教科書の優劣を判断する材料にはしておりません。大事にしているのは、子供たちが主体的に考え判断していくこと、国際社会の問題についても子供たちが主体的に考え判断していける力をつけられるかどうか、どの社についても必要な事実や資料については十分掲載されていると判断をされています。記述の仕方でも各社のスタンスの違いは見られますが、必要な資料はそろっていると選定委員会では判断をされているところです。

以上で社会科の説明は終わります。

○宮本教育長 それでは、御意見、御質問をお願いいたします。

○村上正則委員 選定委員会で丸が3つついたものは東書だけだったんですけども、全体的に見て東書のどの部分が優れているのか、ちょっとお示ししていただき、確かに構成というのですか、子供たちが読みやすいというのは東書、確かに読みやすいと思います。

それと、私は文教出版がいいんじゃないかなと思います。というのが、他社の場合は、災害のときの記載なんですけども、東日本大震災のことを何ページかにわたって扱ってるんですけども、文教出版の場合は尾道が被災者や被災地になりました西日本豪雨、それと広島豪雨のことについて詳しく述べております。尾道も犠牲者が出ておりますので、また今年も同じような豪雨にならないとも限りませんし、また近いうちに大雨が降るんじゃないかなあとと思いますので、ぜひ子供たちには自分の命を守るという点からも、この尾道の災害のこの記載のある教科書がいいのではないかなと思っております。後半部分はちょっと余談です。前半の。

○石本教育指導課長 選定委員会の中では、東書についてはほかの発行者と比べ

て図表の使い方、読み取り、まとめ方において優れていて、全ての単元で問題解決的な学習過程に沿ったプロセスで学ぶようになっているということが出されておりました。

以上です。

○宮本教育長 よろしいですか。

○村上正則委員 はい。

○村上節子委員 図書館のほうで教科書展示会があったときにアンケートを取ったというふうに聞いています。そのアンケート結果が、ちょっと見せてもらったんですけど、社会科についての意見が多かったんじゃないかなと思うんですけど、それは選定委員会のほうでは話合いというか議論みたいなのはありませんか。

○石本教育指導課長 選定委員会でもアンケート結果は供覧しております。選定委員会では、市民の皆様からの意見があったことも承知しておりますが、意見があったということで評価に直接反映させるということはしてはおりません。

以上です。

○豊田委員 東書の教科書の中に、社会科の学習の進め方で知識とか技能とかを教えるとかというんじゃなくて、社会科の物の見方、考え方を大事にしながら児童に学ばせるという点については非常に優れていると思いましたが、もう一つ加えて、思考をしていく思考の仕方、例えば先ほどおっしゃったようにグラフを比べてみるとか関連づけてみるとか、それから分類してみるとか、そういうふうな思考法についても触れてありました。内容もさることながら、そういう物の見方、考え方を非常に大事にしていくという点では、東書がよくできているなと思いました。

それから、後でまたお話があるかと思いますが、探究活動の進め方の中でも、つかむとか、それから調べるとか生かすとかまとめるとか、そういった流れが、プロセスが上手にどの単元にも出ていたように思いました。

それと、今の課題であります尖閣の問題であったりとか北方領土の問題であったりとか、そういったところも適宜触れてありました。だから、全体的にそういうふうな今日的な子供たちに考えさせていきたいというふうな内容や事柄、そういったものもこちらが教え込んでいくのではなくって、子供たちが客観的ないろんな事実に基づいてどのように考えていって、社会的な見方や考え方を形成していくのかというところあたりがとてもうまく構成されているなというふうな思いを持ちました。

以上です。

○**奥田委員** 私も豊田委員さんと大体同じような意見なんですが、特にこの東京書籍の教科書を読んでみますと、つかむ、調べる、まとめる、生かすというところで非常に問題提起がはっきりしておりまして、この場面では何を考えるのか、そしてそれからどういうふうに表とかグラフを分析するのか、そしてまとめとしてどういうふうにまとめ、そして我々は今後どう生かしていくのかという大きな流れというものが非常に分かりやすくコンパクトにまとめられている教科書だなというふうに評価をしました。

そういう点で、非常に社会科の教科書としてはふさわしいのではないかなというふうに思いました。

以上です。

○**宮本教育長** ほかにはございませんか。

村上節子委員、今、東書と日本文教出版の2つ出てますけど、何か御意見があればおっしゃってください。

○**村上節子委員** 今、改めて東京書籍と教育出版の5年生のページを見比べてみたんですけど、どちらもこのつかむとか調べる、まとめる、生かすっていうのが、表記の仕方は違いますが、取り扱ってあって、何がなんか違うのかなと思うと何となく、申し訳ないんですけど、何となく東京書籍のほうが見てて楽しいというか、子供たちがちょっと食いつくような、女の子の絵とかにしてもそうですけど、ちょっと新しい感じが、開いてみたいなっていうふうに思うのかなっていう感じが、物すごく客観的な意見なんですけど、ありました。

○**宮本教育長** ほかにはいかがですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○**宮本教育長** 今、様々な御意見をいただいたんですけども、いろんな観点で東京書籍を評価する声が多いのかなというふうに思うんですけども、社会科につきましては東京書籍というふうに思われている方も多いんですが、御異議ございませんか。

○**村上正則委員** ここではちょっと……。

○**宮本教育長** じゃあ、私も言わせていただいてもいいですか。

私も主体性を育てるっていうか、科学的思考力を育てていくっていう観点でいうと、これはそれぞれの教科書会社はいろんな工夫をされているんですけども、子供たちにとって分かりやすいという点では東京書籍を評価したいなあというふうに思いますので、村上正則委員さんは日本文教出版を評価されていますが、賛成多数ということで東京書籍を採択させていただいてもよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では、そのように決定いたしました。

では次に、地図に入りたいと思います。

説明をお願いいたします。

○石本教育指導課長 それでは、地図について説明いたします。

報告書の49ページから50ページを御覧ください。

地図の教科用図書の発行者は2社です。全ての発行者について調査、審議をした結果、特徴的であると評価した各社の観点について報告いたします。

審議報告書、地図を御覧ください。

まず、東京書籍、第2の観点の③、第4の観点の⑥、帝国書院、第1の観点の①、第2の観点の④、第3の観点の⑤。

選定委員会での審議の結果、特に特徴的であると評価したものを具体的に説明します。

まず、東京書籍です。

第2の観点、主体的に学習に取り組む工夫、興味関心を高めるための工夫です。巻頭ページの世界地図と日本地図を示す際に、国ごとや都道府県ごとの特産物、動物、文化等を記載し、児童の学習意欲を高めています。ホップ1ステップ1マップでジャンプ1では、抜き出すことの面白さに触れることができ、興味関心を引き出すものになっています。

1ページから6ページを御覧ください。

ホップ1ステップ1マップでジャンプ1というところで、動物や特産物などが記載されています。

続いて、第4の観点です。内容の表現、表記、学習内容との適切な関連づけがなされたイラスト、写真等の活用です。

97ページから99ページを御覧ください。

日本全図は、巻頭や巻末それぞれの掲載ページにおいて、都道府県及び地域別に有名なもの、日本とその周り、地形、気候、産業、交通、都市、歴史、文化、自然災害の項目ごとに示されております。

また、平成26年8月豪雨の写真を掲載することで、災害の問題をより身近に考えることができるようになっております。97から99ページです。

続いて、帝国書院です。

第1の観点、ア、基礎基本の定着、単元や活動の取扱い、説明の仕方の工夫です。地図帳の使い方を問題解決的に掲載し、地図の見方では色分けをして示しています。地図帳の使い方では、キャラクターを通して学びの視点を伝え、

問題解決的に実際に地図を使いながら学んでいくという方法をとっています。

11ページを御覧ください。

地図帳の使い方、地図の約束。

それから、17ページです。

これは、記号についてのページになっています。このような工夫がなされています。

続いて、第2の観点です。主体的に学習に取り組む工夫、課題の設定、整理、分析、振り返りを展開するための構成上の工夫です。

索引は115ページです。

それぞれの項目を5色の色と6種の記号で示されており、支援が必要な児童にも使いやすいものになっています。また、索引を使いたくなるような仕掛けがされており、児童が主体的に学んでいこうとする姿勢を引き出すような工夫がされています。日本の色分けは6種ですが、世界は3種類の色分けとなっているということがあります。

続いて、第3の観点です。ウ、内容の構成、表、配列、分量、単元や資料等の配列です。

113ページを御覧ください。

世界の統計資料です。世界の統計資料を紹介する項目で、統計表に加えて日本の農水産物、資源の輸入先について記載しています。

43ページ。東書に比べてより詳細な地図が掲載もされているとしています。

帝国の43ページを御覧ください。

帝国の43ページ、尾道を探す場合、瀬戸内海周辺ということで見開きの中の中心部分に尾道を見ることができます。様々な特産物も記載されているということです。本市で使用する上で、有効と判断できるというふうに選定委員会ではこのページの協議がありました。

以上で地図についての説明を終わります。

○宮本教育長 それでは、御意見、御質問をお願いいたします。

○奥田委員 選定委員会での評価というのも大切にしたいと思うんですが、東京書籍が丸2つ、帝国が丸3つということで、帝国のほうがより優れているという選定委員会の意見もあったと思います。私が見てみましても、そういういろいろな統計資料とかをただ紹介するだけではなくて、そこから何が読み取れるかという、そういう学習内容にもつながっているように、そういうところが優れているように思いました。

そのあたりで、大局的なところでその差が出たところほどのあたりかという

のを、ちょっと事務局のほうで説明いただけますか。

○石本教育指導課長 東書は世界との関わりがあり、日本の地図から世界とのつながりを見ることができるということ、またホップアップステップマップでジャンプは、興味関心を引き出すものになっているというふうに協議がありました。

帝国につきましては、QRコンテンツも充実をしています。また、色合いについても見やすい色合いだということが出ました。さらに、索引につきましては、先ほども説明いたしましたが、使いたくなるような仕掛けがされており、児童が主体的に学んでいこうとする姿勢を引き出す工夫があるということが出されています。

○宮本教育長 よろしいですか。

○村上正則委員 地図は3年生から使うわけなんですけども、帝国書院の地図のほうが使いやすいという御判断なんだろうけども、どのあたりがこういう判断に至ったんでしょうか。

○石本教育指導課長 これにつきましては、帝国のやはり索引の部分のところです。帝国書院の115、116、それから東京書籍の87、88のところで見えますと、それぞれの項目が帝国書院の場合6種の記号で示されているということ、また支援が必要な児童にも使いやすいものになっているということでした。

また、先ほどもありましたが、瀬戸内海を中心とした拡大地図、これも自分たちの住む地域周辺を確認するためには優れているのではないかという評価でした。

以上です。

○豊田委員 豊田でございます。

帝国書院のほうは、非常にぱっと開いたときにどのページもやっぱり見やすい。先ほどお話がありましたが、3年生ないしは4年生のあたりでしっかり地図を見させるというのを、地図を見て学ぶということについては、もっともっと進めていきたいことだと私は思っています。

そうすると、問題解決的にこの地図を見ながら問題解決していくというふうなところも随所に見られるので、そういう意味ではこの帝国書院の地図が非常に有効かなというふうに思います。

以上です。

○宮本教育長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では、ないようですので、以上で地図の質疑を終わりたいと思うんですが、帝国書院を評価する声が多いということで、帝国書院ということで

御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では、御異議なしと認め、帝国書院を採択することに決定いたしました。

次に、算数に入ります。

説明をお願いいたします。

○石本教育指導課長 それでは、算数について説明いたします。

報告書の51ページから55ページを御覧ください。

算数の教科用図書の発行者は6社です。全ての発行者について調査、審議をした結果、特徴的であると評価した各社の観点について報告します。

東京書籍、第2の観点の4、第3の観点の7、第5の観点の9、大日本図書なし、学校図書、第1の観点の2、第2の観点の4、第4の観点の8、教育出版なし、啓林館、第1の観点の1、第4の観点の8、日本文教出版なし。

選定委員会での審議の結果、特に特徴的であると評価したものは東京書籍と学校図書と啓林館です。この3社について具体的に説明をいたします。

まず、東京書籍です。

第2の観点、主体的に学習に取り組む工夫、問題解決的な学習を実施するための工夫です。

2年生下の44ページを御覧ください。

今日の深い学びとして、マイノートを学習に生かそうとまとめてあり、問題を解決していく自分の思考を振り返ることができるようにしています。また、その考えの視点も示しています。大切な見方、考え方については青い付箋で示されているのが特徴です。

第3の観点、内容の構成、配列、分量、中学校との関連に関する内容の記述です。単元のまとめの後に、できるようになったこと、次に考えてみたいことがあります。その中で、次の学年や中学校との関連が書かれています。また、全単元後に卒業旅行の中で中学校と関連のある内容に触れております。

6年生の132ページ、133ページを御覧ください。

つないでいこうとして、左ページの上にあります。右のページの覚えているかな、これは前の単元との関わりということになります。単元と単元の学習内容をつないでいこうというところになります。中学校体験入学コースもありまして、ほかにも多様なコースがあり、これまでの学びを生かしていこうと工夫をされています。

220ページを御覧ください。

算数卒業旅行ということで、中学校体験入学、国際コース、和算コース、クイズ・パズルコースなどがあります。

続いて、第5の観点です。言語活動の充実、数学的な表現を用いて自分の考えを説明する活動の工夫です。今日の深い学びを設定し、学習過程とともに側注として数学的な見方、考え方など話し合い活動を進めるためのヒントが書かれています。それを基に説明の活動が展開できるようになっています。

4年生下の65ページを御覧ください。

上に、今日の深い学びとされています。右側の背景色がついているところ、これが各ページに示されています問題をつかもう、今日はどんな問題かな、どのように考えれば解決できるかなというようなところです。

続けて、学校図書についてです。

第1の観点、基礎基本の定着、基礎的、基本的な知識、技能を定着させるための工夫です。練習問題も単元末問題も充実しています。単元末には基礎問題、発展問題が設定されており、知識、技能の定着に有効としています。振り返りのページでは、その単元で大切な見方、考え方を改めて提示し、問題解決できるよう設定されています。

5年生の上の32から34ページを御覧ください。

できるようになったこと、まなびをいかそうというページがあります。練習問題が載っています。34ページについては、ふりかえろうというページがあり、問題解決ができるような設定となっております。

続いて、第2の観点です。主体的に学習に取り組む工夫、問題解決的な学習を実施するための工夫です。ノート名人になろうは、尾道市における問題解決学習の指導の形に沿ったものになっていると捉えております。

6年生の6ページを御覧ください。

ノート名人になろうです。考え方モンスターで振り返ろうでは、いろいろな図形の面積も、求め方が分かる形に変えることで面積を求めていくことができるようになっております。

また、5年生の下の68ページを御覧ください。

こちらでも考え方モンスターで振り返ろうということで示されているページとなっております。

続いて、第4の観点です。内容の表現、表記、イラスト、写真、吹き出し等の活用についてです。

単元の導入は、2年生の上、122ページを御覧ください。

日常生活と関連する場面を設定し、イメージしやすいようなイラストで表示

され、児童の興味関心を促すようにされています。また、1時間の学習のまとめが分かりやすく示されており、単元の導入にイラストが使われている状況です。

続いて、啓林館です。

第1の観点、基礎基本の定着、単元の目標を達成するための工夫です。導入時に児童にとって身近に感じる日常生活場面を示し、単元全体の目当てを設定し、興味を持って学習に向かわせるものになっています。

3年生上の36ページを御覧ください。

文房具を買いに来ましたというように日常生活の場面を示し、単元全体の目当てを設定し、学習に向かわせるものとなっているというところでした。

続いて、第4の観点です。内容の表現、表記、イラスト、写真、吹き出し等の活用です。操作活動では、写真を用いているので活動内容を想像しやすく、学習意欲を高めることができるようにしています。

2年生上の88ページを御覧ください。

QRコンテンツには見出しがついており、アニメーションに加えて誤答の多い問題も扱われている様子があります。

では、ちょっと見ていただいて。

[動画視聴]

○石本教育指導課長 実際を使うと7分ぐらいかかるということですが、動画を使いながら、より分かりやすくしようという工夫が見られました。

以上で算数の説明を終わります。

○宮本教育長 それでは、御意見、御質問をお願いします。

奥田委員。

○奥田委員 先ほど説明がありましたけど、東京書籍の場合は深い学びといいですか、そういうじっくり自分で考える、そういうことが充実しているように思えました。また、評価では学校図書も丸3つということで、あまり差はないような評価で出ておりますが、学校図書も非常に歴史もあり、前々回の採択では尾道では学校図書を採択するというので、伝統的に教科書としての優れた要素も持っていると思います。そのあたりで選考委員会のほうでその2社を比較したときにどんな議論になったかというあたりもちょっと教えていただけますか。

○石本教育指導課長 東京書籍は、問題解決的な筋道が明確に示されていて、特に最後の振り返りが課題解決的な学習やノートの有効活用、単元や中学校の学習へのつながりなど、言語活動が主体的に活発に行われていることが東京書籍

の特徴であるという協議でした。考えたことを発表したり説明したりして言語化することで、学んだことをより定着させる工夫があると捉えられています。

学校図書は、基礎基本の定着のための設問が充実しているということです。イラストを活用し、問題場面等をイメージしやすくして、目当てを設定したりするなど課題解決に向けた支援の工夫が特徴であると協議しておりました。

以上です。

○宮本教育長 よろしいですか。

ほかに。

○村上節子委員 尾道の子供たちの算数の課題があると思うんですけど、それを解決するためにはどの教科書が向いているとか、工夫があるとかというのがあれば教えてください。

○石本教育指導課長 尾道市の子供たちの現状と課題からいいますと、基礎基本の力はおおむねついていると捉えております。

尾道市の課題としては、知識を広げたり深めたり活用することであると捉えております。したがって、活用や探求場面に力を入れているとなると、東京書籍のほうが優れているのではないかという選定委員会でも議論がありました。

○宮本教育長 よろしいですか。

○豊田委員 今朝ほどちょっとお話ししたんですけれども、2年生の学年で差がつくんだと。それから、2年生の算数の学習の内容が足し算、引き算あり、掛け算ありというふうに、それから量の問題にしても単位の問題にしても、基礎になるところが2年生で、その差が非常に大きくつくんだということを小柳部長さんからお話をお伺いしましたけれども、そういう点で2年生の教科書をちょっと見てみると、倍の概念、掛け算の基になる1つ分掛ける幾つ分という、その物の考え方が非常に明確に説明してあるのは東書だなと思って見たんですが、それはでも全体的にいろいろ単元がありますから単元によっても違うと思うんですけれども、尾道市のこの前の学力テストを見ますと、大体全国平均並みに算数は、小学校の場合は到達していたと思います。

そうすると、それ以上に学力を伸ばしていくとなると、発展的な問題であったり、基礎基本を中心にしながら、さらにそれを基にして活用していく力、発展的な問題に挑戦する力、そういったものをもっとつけようと思えば、問題数の非常に多い東書がいいのかなと思います。

それでも、学校図書の場合は数学的な物の見方、考え方ということで、先ほど考え方モンスターのことが出ておりましたけれども、別の表し方にするとと

かまとめてみるととかというふうに数学の基になる考え方がきちっと示してあるので、1年から6年までこれは上げてありますから、これらを基にして授業を進めていったり考えていくと力はつくと思うんです。

だから、今の状況を考えたときに、さらに発展問題に挑戦していく尾道の子を育てるということになれば東書のほうがいいのかなど思ったりしますが、優劣つけ難いところがあるように思いました。以前に学図のほうを尾道市が使っていたので、何度か授業も見せてもらったことがあるんですけども、やっぱり教科書の編集とか狙いによって随分違ってくるので、今申し述べましたように、今何がニーズとして尾道市にあるのかということを考えてときに、どちらにしたらいいかというのを決めたらいいと思いました。

以上です。

○村上正則委員 どれも甲乙つけ難いんですけども、尾道の子供たちの数学的な知識を広げるということになると、様々な問題をたくさん当たらせると、そして数学的な見方とか考え方を身につける、そして思考を再構築するという点では、どれも同じようなんですけども、総合的に考えれば東書がいいのではないかなと思っております。

○宮本教育長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 ないようですので、算数の質疑は終結します。

採決に移りたいと思うんですが、学校図書も優れた教科書ということで御意見もいただきましたけれども、今の尾道の子供たち、これからより活用、発展的な問題も解ける子供たちに育てていくというところでいうと、東書というお声が多く出されたんですけども、算数については東京書籍ということで御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では、御異議なしと認め、東京書籍を採択することに決定いたしました。

次に、理科に入ります。

説明をお願いいたします。

○石本教育指導課長 理科について説明いたします。

報告書の56から59ページを御覧ください。

理科の教科用図書の発行者は5社です。全ての発行者について調査、審議をした結果、特徴的であると評価した各社の観点について報告します。

東京書籍は第2の観点の④、第4の観点の⑧、大日本図書はなし、学校図書

は第2の観点の⑤、教育出版はなし、啓林館は第1の観点の③、第5の観点の⑩でした。

選定委員会での審議の結果、特に特徴的であると評価したのは東京書籍と学校図書と啓林館です。この3社について具体的に説明をいたします。

まず、東京書籍です。

第2の観点、主体的に学習に取り組む工夫、興味関心を高めるための工夫です。導入部分において、体験や観察、実験、既習事項や日常生活を想起することを通して、児童が学習内容や学習課題をつかみやすくする活動を取り入れています。実験や観察の後、話し合いながら科学的概念を理解していく展開になっています。

6年生の136から153ということで、136ページを御覧ください。

学ぶ前に思い出そうで、レディネスをつくり、問題、実験、まとめ、発展と学習を進めていき、この手順で科学的な思考の手順になっているということです。136ページ。この下の部分に思い出そうとかレディネスをつくり、それから問題をつかもう、右ページにある状況があります。

続いて、第4の観点です。内容の表現、表記、本文記述との適切な関連づけがなされたイラスト、写真等の活用の工夫です。写真のサイズが大きく、理科の学習で大切な変化や特徴などを細かく観察することに有効なものになっています。観察や実験の際に自分で撮った写真や図、メモを使ったICTを活用した学習ができるようになっていきます。実際に使いやすいQRコンテンツもあります。ICT活用に関わって、児童が自分たちで動画を撮る際の方法についても示しています。

では、5年生の44ページを御覧ください。

このように、大きな写真で見ることができます。また、QRコンテンツもあります。

ちょっと見ていただいて。

[動画視聴]

○石本教育指導課長 理科は観察や実験が多いため、ICTの活用をしていくことが重要であるということです。

それでは続いて、学校図書についてです。

第2の観点、主体的に学習に取り組む工夫、問題解決の力を育成するための工夫です。児童が自分で課題を立て、見通しを持って学習過程において自己評価しながら活動していく工夫があります。課題解決に必要な力を表すキャラクターがおり、問題にアプローチする方法が示されています。

6年生の85ページを御覧ください。

6年生の85ページでは、キャラクターが問いを見つけるためのヒントを出しています。計画のところにアリがいたり、予想のところに鳥がいたりというようなキャラクターがいます。

続いて、啓林館です。

第1の観点、基礎基本の定着、観察、実験の技能を習得させるための工夫です。新しく学習した言葉として、新しく学んだ概念を定着させる工夫があります。準備物の記載があり、番号と点線で手順を示し、写真や図などを用いて説明をしています。初めて使う器具については同ページに記載があります。安全に対して配慮が必要なところに注意喚起ややけどなどのマーク付け、赤文字で示してあります。

それでは、6年生の18ページ、19ページを御覧ください。

左上のところに注意で気をつけることなどの記載が赤い字で付してあります。それから、初めて使う器具についても同ページに記載があります。

続いて、第5の観点です。言語活動の充実、科学的な言葉や概念を使用して自分の考えを論述する活動の工夫です。巻末に話合いの留意点を示しています。結果などをどのように表現するのか例示されています。單元ごとに、ふり返ろう、まとめノートがあり、自分でまとめる際のヒントとなっています。

それでは、5年生の169ページを御覧ください。

168ページのほうには、ふり返ろう、まとめノートがあり、自分でまとめる際のヒントとなっていきます。また、たしかめようでは学んだことを使って説明する学習があり、言語活動の中で理科を楽しむ見方や理科の考え方を学ぶ工夫が見られます。

6年生の21ページ、22ページを御覧ください。

これが、ふり返ろう、まとめノートです。22ページのほうには、たしかめようということで確認のページとなっています。

理科の説明は以上でございます。

○宮本教育長 それでは、御意見、御質問はございませんか。

○村上節子委員 理科を教えるに当たって大切な観点って何ですか。

○石本教育指導課長 理科は、仮説を立て観察や実験で検証、考察をするといった学習過程を通して科学的思考力を育てる教科であるということです。その点では、第5の観点である言語活動の充実が大切となります。

また、主体的な学びのためには、基礎的な力を定着させる必要もあると捉えております。

○宮本教育長 よろしいですか。

ほかにいかがでしょうか。

○村上正則委員 啓林館の教科書の巻頭には季節ごよみというのがありまして、日常生活の中に理科を取り込んでいくというような項目があり、これは他社に見られないところで非常にいいのではないかと思います。

それと、QRコンテンツ、デジタルデータについての説明がありましたけども、理科の力をつける上でどのような効果があるのでしょうか。

○石本教育指導課長 尾道の子供たちは、学力調査の結果からも実験や観察で分かったことを文章化してまとめることに課題があると捉えています。QRコンテンツを活用しながら自分の考えをまとめることは、尾道の子供たちに理科の力をつける上で効果的であると言えます。その点、どこにどんな情報があるかを示している東書の工夫や、イラストをダウンロードして自分のまとめのノートに活用できる啓林館の工夫はともに評価ができるということが選定委員会の中でも議論をされておりました。

○宮本教育長 よろしいでしょうか。

○豊田委員 啓林館の教科書は、算数の教科と関連を持たせたところの記述が幾らかあったんですけども、特にこれからはそういう単教科だけではなくって教科間の関連性を見ていくとか、そういう広がりを持たせたような記述がぜひ欲しいなと思うんです。

そういう点で、理科を学びながら算数を使って、それが使われているんだという実感を持たせることや、数字を使うことによって実験の結果がどういうふうになっていくかという表し方が変わっていくかというふうな点では非常に有効であるというふうに思います。それを意識した扱い方をしてありましたので、啓林の教科書がいいなというふうに思いました。

以上です。

○奥田委員 最初に事務局からの説明がありましたが、理科では学習において仮説、検証、考察、それからまとめという、そういう大きな要素が必要ということはそのとおりだと思います。

この啓林館の教科書を見ますと、全ての章立てでどういうことが予想できるかという仮説、予想、計画、実験をして結果がどうで、考察しようとしてまとめで文章化して自分の考えをまとめると、科学的な思考で自分の考えをまとめると、そういう流れが徹底していると思いますので、そういう点で理科的思考力を、科学的な思考力を育てるという点では、この啓林館の教科書が最も優れているように思いました。

○宮本教育長 ほかにどうでしょうか。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では、今、啓林館の教科書が科学的な思考を育てるのに優れているのではないかという御意見をたくさんいただいたと思いますけれども、以上で理科の質疑を終結し、採決に移りたいと思います。

理科については啓林館ということで御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では、御異議なしと認め、理科は啓林館を採択することに決定いたしました。

議事の都合により、休憩にはいります。

再開は15時10分でよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 はい。では、15時10分に再開します。

暫時休憩します。

午後 2 時56分 休憩

午後 3 時10分 再開

○宮本教育長 それでは、休憩前に引き続き会議を再開します。

生活に入ります。

説明をお願いいたします。

○石本教育指導課長 それでは、生活について説明いたします。

報告書の60ページから63ページを御覧ください。

生活の教科用図書の発行者は6社です。全ての発行者について調査、審議をした結果、特徴的であると評価した各社の観点について報告いたします。

まず、東京書籍、第1の観点の1、第2の観点の6、第3の観点の7、大日本図書、第2の観点の6、第3の観点の7、学校図書なし、教育出版、第1の観点の3、光村図書、第2の観点の6、啓林館、第1の観点の3、第2の観点の6、第4の観点の8。

選定委員会での審議の結果、特に特徴的であると評価したものは東京書籍と大日本図書と啓林館です。この3社について具体的に説明します。

まず、東京書籍です。

第1の観点、基礎基本の定着、具体的な活動や体験を通して学ぶための工夫

です。充実したスタートカリキュラムが設定されています。保護者の皆様へが各章にあり、保護者と共に学ぶ工夫があります。約束の欄、決まりや安全について示しています。

上の1ページから13ページを御覧ください。

スタートカリキュラムということで13ページまで設定されています。

また、55ページを見てください。

何に気をつければいいのかなとして、イラストと写真に加えQRコンテンツでも示され、意識を集中させるようになっています。虫を探すときの約束ということです。

では、ちょっと見てみましょう。

〔動画視聴〕

○石本教育指導課長 QRコンテンツでも気をつけることが示され、意識を集中させることができるような工夫があります。

続いて、第2の観点です。主体的に学習に取り組む工夫、振り返り表現する活動の工夫です。実物、絵の紹介から図やカードを使った発表へ、発達段階を考えた多様な発表方法を紹介しています。実際に発表している様子をイラストで示しています。

上の本の49ページです。

多様な発表方法ということで、ここでは実物を見せながら紹介をしている様子が示されています。

それでは、下の本の28ページを御覧ください。

28ページのほうにも発表の様子が紹介してあります。今度は、画面等を使って紹介をしている様子が示され、多様な発表方法を紹介をしている様子が見られます。

続いて、第3の観点です。内容の構成、配列、分量、単元や資料等の配列及び分量についてです。季節の生き物に関する単元は、分量が多いということです。複数の生き物を取り上げており、学級や学校実態に応じた飼育活動に活用することができるとしています。

それでは、上の本の52ページを御覧ください。

ここでは、生き物と仲よしということで大きく紹介をしています。そして、54ページ、コオロギ、カマキリなどを下の写真入りで紹介しています。また、56ページにも生き物について紹介を、61ページまでずっと生き物について掲載されております。

また、下の本の30ページから41ページを御覧ください。

30ページから、次、32ページにも生き物について複数の生き物を取り上げています。34、35、41ページまで様々な生き物が取り上げられているのが特徴的です。

続いて、大日本図書です。

第2の観点について、主体的に学習に取り組む工夫、興味関心を高めるための工夫です。スタートカリキュラムを意識し、幼稚園や保育園、こども園と生活を比較するページがあります。

それでは、上の4ページ、5ページを御覧ください。

幼稚園や保育園、こども園と同じかな、違うかなということで、写真で見ることができるようになっていきます。

続けて、第3の観点です。内容の構成、配列、分量、単元や資料等の配列及び分量です。季節を意識させる単元配列と目次の工夫がされています。

上の本の12ページ、13ページを御覧ください。

12ページには夏と仲よし、13ページには秋大好き、冬大好きというふうに掲載があり、目次の工夫がされているところが特徴的です。

続いて、啓林館についてです。

第1の観点、ア、基礎基本の定着、自分自身や自分の生活について考えるための工夫、できるかな、できたかなを設け、育てたい資質能力の具体的な姿を示すことで児童の自己評価の観点を示しており、指導と評価の観点が明確になっているのが特徴的です。

下の本の97ページを御覧ください。

97ページ右のところに、できるかな、できたかなということで観点が示されています。育てたい資質能力の具体的な姿が示されている様子です。

続けて、第2の観点です。主体的に学習に取り組む工夫、振り返り表現する活動の工夫です。他教科で学んだことを生かしながら、表現活動や振り返りに取り組めるように設定をされています。

上の本の60ページ、61ページを御覧ください。

60ページには国語の文章で紹介とか、体育、動いて紹介であるとか、61ページのほうには図画工作、絵で紹介と他教科で学んだことを生かしながら表現活動や振り返りに取り組めるような工夫が見られるのが特徴です。

続いて、第4の観点です。内容の表現、表記、本文記述との適切な関連づけがなされたイラスト、写真等の活用についてです。

この60ページ、61ページを御覧ください。

見開き2ページの左上に、単元導入のわくわく、主な活動のいきいき、表現

活動のぐんぐんの3段階で構成されており、児童が見通しを持って学びやすく、児童が自然に主体的・対話的で深い学びに展開するような工夫がされています。左上にタグのようなものがあって、わくわく、いきいき、ぐんぐんと示されているところが特徴です。

生活の説明は以上です。

○宮本教育長 それでは、御意見、御質問をお願いします。

○村上正則委員 東書と啓林では、選定委員会としては同点といいますか、丸が両方3つずつあって両方優れてるということになってるんですけども、この特徴から尾道の子供にとってはどちらがいいのかというのが、もし御意見があればお願いいたします。

○石本教育指導課長 東京書籍は決まりや安全について知らせており、発達段階の系統を考えて多様な表現方法を紹介している点が特徴でした。また、特定の生き物だけではなく複数の生き物を取り上げており、興味関心を持って学校や学級実態に応じて飼育活動に取り組むことができるということもあります。

啓林館は、児童にとって見通しを持って学びやすく、主体的・対話的で深い学びへつながるような工夫がされていました。他教科、領域とのつながり、また幼児教育とのつながりや中学年以降への接続の配慮など、様々なつながりの例が豊富に掲載をされており、カリキュラムをデザインしていく際に大いに参考になるという意見がありました。

QRコンテンツについて、各社それぞれバージョンアップをされているということでしたが、啓林館もより一歩リードしているのではないかという意見が選定委員会では出されていました。

以上です。

○宮本教育長 よろしいですか。

○村上正則委員 はい。

○奥田委員 啓林館の教科書を見ますと、小学1年生から3年までですか、入ったばかりでまだこれから学校生活をどういうふうに過ごすかというところの要素が大きいと思うんですが、特に私が優れているなと思ったのは、交通安全とか安全意識をしっかり育てるようなつくりになっている、交通安全と併せて学校の生活の中でも、こういうことは危険であるとか、学校外でいくところ、川の増水したところへ行ったらいけないとか、幅広く危険なところを意識して安全に生活するよというふうなことを書かれております。それから、命の大切さといいますか、それぞれ貴重な命を守るという、そういう観点での章立てもあると思いました。そういう意味で、低学年の小学生にとっ

ては啓林館の生活の教科書が私はいいのではないかなというふうに思いました。

以上です。

○**豊田委員** つないで、啓林館の教科書の中には、思考の手順、前にどこかの教科のときも言いましたけれども、社会科かな、1番が広げる、それから分類する、順番をつける、考えをまとめるというふうな思考の手順が明確にされていました。こういう順に従って考えていく主体性が育ってくるんじゃないかなというふうに思いました。

それから、SDGsや風力発電なども取り入れられておりましたし、子供たちが現代的な課題についても考えていく方向性が示されていました。それから、見通しを持って学ぶことができ、学びの手順が分かりやすいのが啓林館の一つの特徴じゃないかなというふうに思いました。

以上です。

○**宮本教育長** ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○**宮本教育長** ないようですので、採決に移りたいと思います。

生活については啓林館ということで御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○**宮本教育長** では、御異議なしと認め、生活は啓林館を採択することに決定いたしました。

次に、音楽に入ります。

説明をお願いいたします。

○**石本教育指導課長** 音楽について説明をいたします。

報告書の64ページ、65ページを御覧ください。

音楽の教科用図書の発行者は、教育出版と教育芸術社の2社です。この2社の特徴を説明いたします。

教育出版、第1の観点の3、第3の観点の6、教育芸術社、第1の観点の2、第4の観点の8です。

それでは、教育出版の観点から説明をいたします。

第1の観点、基礎基本の定着、器楽の基礎基本の定着を図るための工夫です。器楽の指導事項がスモールステップで示され、階名ごとに写真で示されているなど分かりやすく提示されています。鑑賞曲をQRコンテンツで附属するなど、興味関心を高める工夫があります。

それでは、3年生の18ページから25ページを御覧ください。18ページです。

リコーダーの図が書いてあります。どんな音がするのか。それから21ページ、1ページに1音ずつシの音の様子、それから23ページにはラの音の様子ということで階名ごとに写真で示されており、分かりやすく提示されている様子があります。

それでは、QRコードがついているので御覧ください。

[動画視聴]

○石本教育指導課長 指使いと実際の音が動画で示されているところが特徴です。音と子供の画像を見ることができます。

それでは、第3の観点です。内容の構成、配列、分量、我が国の音楽に関する内容の扱いです。日本古来の歌の学習と世界の音楽の学習を比較しながら、文化の固有性に気づけるように示されているのが特徴です。

では、4年生の40ページを御覧ください。

日本の伝えられてきた歌を楽しもうということを示されています。また、42ページには日本のお祭りを訪ねて、これが49ページまで様々な日本と世界の音楽が示されているところが特徴として説明があります。

続いて、教育芸術社です。

第1の観点、基礎基本の定着、歌唱の基礎基本の定着を図るための工夫です。歌詞の解釈と歌い方の工夫が明確に示されており、学習内容が分かりやすくまとめられています。何を学ぶのが明確にまとめられています。

それでは、1年生の14ページから21ページを御覧ください。

14ページの左側には、拍を感じ取ろうということ、拍を感じ取りながら音楽を聞いたり歌ったりリズムを打ったりすることができるかなということ、学習内容が明確に示されているということです。

それから、5年生の12ページを御覧ください。

こちら、左側に歌声を響かせて心をつなげようということ、学習内容について示されています。

続いて、第4の観点です。内容の表現、表記、共通事項の指導を充実させる工夫についてです。音楽を形づくっている要素が振り返りのページにまとめて示されています。

6年生の82から83ページを御覧ください。

振り返りのページです。音楽の要素がまとめられて示されています。音色、リズム、拍、旋律、強さなどの要素が示されているところが特徴です。

以上、音楽の説明を終わります。

○宮本教育長 それでは、御意見、御質問をお願いいたします。

○**奥田委員** 選定委員会では、教育出版と教育芸術社、2つずつの丸がついているということで、あまり差がないという評価だと思います。

それで、特に音楽、先ほどもちょっと紹介ありましたが、実技教科としてQRコンテンツの充実度というのは非常に大切になると思うんですが、そのあたりの2社でのQRコンテンツの評価はどういうふうになっておられるか、そのあたりをお聞かせください。

○**石本教育指導課長** 選定委員会の協議で出たことについてですが、教出は活動の仕方に焦点を当てているといいます。入門期における学習の段階を丁寧に扱っておられ、画像等でも分かりやすく示していました。また、QRコンテンツは分かりやすくつくられており、映像で吹いている姿と音を聞くことができたり、楽譜を示して音が鳴ったりと五感で感じることができるようになっているという特徴があります。

教育芸術社は、楽曲の理解と表現に特徴があります。基本的な学習を繰り返して学べるように示しています。また、QRコンテンツは単音で主旋律だけ流れるようになっていました。QRコンテンツについては、教育出版のほうが発達しているという、選定委員会で協議になっておりました。

○**宮本教育長** よろしいでしょうか。

○**村上正則委員** 尾道では合唱コンクールがあるわけなんですけども、その中で合唱コンクールは学校の一体感を高めるとか、子供たちの達成感を育むということで非常に有用なコンクールだと思うんですけども、この教科書2社あるわけなんですけども、どちらの教科書のほうがより尾道の子供たちに向いているのか、そこのところがございますでしょうか。

○**石本教育指導課長** 教育出版は、2年生から2部合唱が入っております。系統性も意識されているというふうに捉えています。曲選びでも、これまでスムーズに音楽コンクールに向けて決定もするなどということもありまして、尾道の教育の狙いに沿ったものになっていると捉えています。よって、教育出版のほうも尾道の子供たちには合っているという協議になっております。

○**宮本教育長** よろしいですか。

○**村上節子委員** 私は、教育出版のほうが発見合う音楽の方法っていうのが書かれていて、パートに分かれて合唱を一緒につくり上げていくっていう過程が示されているのかなと思います。合唱コンクールなどで合唱の喜びなどを育てている尾道の子供たちにとっては、教育出版のほうが発見合うのではないかなと思っています。

○**宮本教育長** ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では、ないようですので、採決に移りたいと思います。
音楽については教育出版ということで御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 御異議なしと認め、教育出版を採択することに決定いたしました。

次に、図画工作に入ります。

説明をお願いいたします。

○石本教育指導課長 図画工作について説明します。

報告書の66から68ページを御覧ください。

図画工作の教科用図書の発行者は、開隆堂と日本文教出版の2社です。この2社の特徴を説明します。

開隆堂は第1の観点の1、第2の観点の4。日本文教出版は第1の観点の1、第2の観点の4です。

それでは、開隆堂から説明をいたします。

第1の観点、ア、基礎基本の定着、題材の目標、振り返りの示し方です。各題材の目標を資質能力を表す3種類のキャラクターと文章で示しています。また、学習の目当てに対応し、どのような資質能力を身につけたか確認できるように問いかけることで、振り返りの視点を示しています。

それでは、1、2年生上の4ページを御覧ください。

4ページの上に資質能力を示す3種類のキャラクターがいます。くふうさん、ひらめきさん、こころさんです。

それから、5、6年生の上、26ページ、27ページも御覧ください。

ここにも、くふうさん、ひらめきさん、こころさんが、26ページ上に学習の目当てのところに書かれています。青いくふうさんは、形や色、動く仕組みづくりなどを工夫する、それぞれ3つの学習の目当てがキャラクターと文章で示されているのが特徴です。また、振り返りの視点も示されております。

それでは、第2の観点です。主体的に学習に取り組む工夫、興味関心を高めるための工夫です。各題材名の上または下に、活動のきっかけとなる文を示しています。UDフォントの使用により、支援を要する児童にも読みやすい書体となっているのも特徴です。また、全ての題材で、QRコードからタブレット端末などで導入動画と作品を視聴できるように示しています。

それでは、5、6年生下の36、37ページを御覧ください。

では、導入動画の実際を見てみます。

[動画視聴]

○石本教育指導課長 このように、全ての題材でQRコードがついておりまして、導入動画と作品例を視聴できるように示されているということです。

続いて、日本文教出版です。

第1の観点、基礎基本の定着、題材の目標、振り返りの示し方です。資質能力の3観点をアイコン化して学習の目当てを示しています。また、それぞれの学習項目を細分化し、育てたい力をより明確に示しています。思考力、判断力、表現力などにおいては、発想や構想など、表現の目当てと鑑賞の目当てを示し、表現と鑑賞を往還しながら活動できるようにしています。

それでは、5、6年生下の22ページを御覧ください。

左上に学習の目当てが示されています。学習項目を細分化して3つの手のマーク、電気のマークなどありまして、つくりながら動きや形や色など特徴を理解する、表したことに合うように題材や用具を選んで使うなど示されているのが特徴です。

それから、23ページのほうには振り返り、片づけ方なども書かれています。これはQRコードも見れますか。QRコードもついております。すみません。

では続いて、第2の観点です。主体的に学習に取り組む工夫、興味関心を高める工夫についてです。各題材名の下に活動のきっかけとなる文を示しています。ゴシック体が使用されています。また、全ての題材でQRコードからタブレット端末などで用具の使い方、作品例、仕組みなどを視聴できるように示しています。QRコンテンツの中に、発想を喚起するようなものもあるのも工夫されています。

それでは、1年生上の28、29ページを御覧ください。

ぺったんコロコロという単元です。左上のほうには目当ても書かれております。

では、QRコードをお願いします。

[動画視聴]

○石本教育指導課長 このように、図工に関わる体操などの動画も視聴できるようになっているのも特徴です。

以上、図工の説明でした。

○宮本教育長 それでは、御意見、御質問をお願いいたします。

○村上節子委員 開隆堂も日本文教出版も、両方とも丸が2つずつなんですけど、それぞれの特徴を聞き比べられるように教えてもらってもいいですか。

○石本教育指導課長 まず、開隆堂は、学習の目当てに対応し、どのような資質

能力を身につけたか確認できるような振り返りの視点が示されているところが特徴です。

また、日本文教出版は、発想や構想などの表現の目当てと鑑賞の目当てを示し、表現と鑑賞を往還しながら活動できるようにしているというところが特徴と捉えています。

○宮本教育長 よろしいですか。

○豊田委員 どちらが子供の主体性といいますか、意欲、興味を引き出す教科書でしょうか。

○石本教育指導課長 開隆堂につきましては、教科書に例えば活動と関連した鑑賞の特設ページ、小さな美術館というのが設定されています。表現と鑑賞との関連を図った学習活動の充実を図ったり、支援を要する児童にも読みやすい書体のUDフォントが使用されているなど、どの児童も主体的に学習に取り組む工夫が見られるところが特徴であるというふうに見ています。小さな美術館から。

はい、じゃあ、ちょっと小さな美術館を見えます。

〔小さな美術館視聴〕

○石本教育指導課長 はい、このようにいろいろな作品を見ることができるよう、各学年それぞれに示されています。

○奥田委員 開隆堂の教科書は、先ほど説明がありましたが、小さな美術館などは鑑賞と、そしてそれを鑑賞するだけではなくて子供たちがそれを受けて活動に発展していったりとか、そういうところが非常に優れているのではないかなと思いました。

それから、墨の達人のQRコードを見せてもらいましたが、QRコードが充実しているのも開隆堂ではないかなというふうに思います。

トータルで見て、子供たちが主体的に図画工作を学ぼうとする、そういう配慮が多く見られたのが、また開隆堂の教科書というところで評価できると思います。

以上です。

○宮本教育長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では、ないようですので、採決に移りたいと思います。

開隆堂をより評価する御意見が多いのかなというふうに思いますが、図画工作については開隆堂ということで御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では、御異議なしと認め、開隆堂を採択することに決定いたしました。

次に、家庭科に入ります。

説明をお願いいたします。

○石本教育指導課長 それでは、家庭科について説明をいたします。

報告書の69ページから70ページを御覧ください。

家庭の教科用図書の発行者は、東京書籍と開隆堂の2社です。この2社の特徴を説明します。

東京書籍は第3の観点の7、第4の観点の9、第5の観点の10、開隆堂は第2の観点の5、第4の観点の9です。

それでは、東京書籍から説明いたします。

第3の観点、内容の構成、配列、分量、実践的・体験的な学習を実施するための工夫です。各題材に導入に活用できるようトライシートが用意されています。トライシートには、思考ツールが活用されています。地域や家庭との関わりの中で、問題解決的な思考をする際に有効であると言えます。

13ページを御覧ください。

13ページの下側に、話し合おうの中にトライシートというものがあります。思考ツールとして活用できるものが掲載されています。また、20ページです。ここにもトライシートが示されています。

それから、21ページ右上のQRコード、これは子供たちが付箋に書き込んで書き加えていくというQRコードになっています。いためるとかゆでるとか、分からないなどに分けていく、このように学習を進めることができるという工夫があります。これは、他社にはない工夫というふうに選定委員会では捉えています。

続いて、第4の観点です。内容の表現、表記、本文記述との適切な関連づけがなされたイラスト、写真等の活用です。野菜の切り方について、写真、図、動画で示してあります。実物大の写真がそれぞれの題材のページに示してあります。右利き、左利きの動画が別々になっています。

それでは、89ページです。

89ページ上の、右上のQRコードを見ていただきます。左利きからです。

[動画視聴]

○石本教育指導課長 このような動画が左利き、右利きと別々になっているのが特徴です。

それでは、88ページには、彩りいためということで野菜の切り方がそれぞれ

掲載されています。

136ページを御覧ください。

136ページ、137ページには、それぞれの切り方が実物大でも右利きの場合、左利きの場合などが示されています。また、厚さ3ミリというのが実物大です。また、ピーマンの4ミリ、それからハムはこれくらいの大きさに切るといようなことも分かりやすくなっています。実技の教科では直感でつかむということがとても大事ということで、このQRコンテンツは有効であると捉えています。

手順のとおり洗うってということが、実はこのようにするのかというのがQRコンテンツで見て分かるということもあります。

それでは続けて、第5の観点です。言語活動の充実、言葉や図表を用いて生活をよりよくするための方法を考えたり説明したりする学習活動の工夫についてです。主に活動、話し合おう、活動、考えよう、活動、調べよう、活動、深めようのマークで示されているところで、生活をよりよくするための方法を考えたり説明したりする活動を取り上げています。実生活と関わりながら言語活動を充実していることが評価されています。

52ページを御覧ください。

52ページには、活動6、深めようというように、調理実習を、さらに作り方のポイントを話し合うような内容が示されています。

また、132ページ、活動4、深めようということで、これから家庭科で学んだことをもっと生かしていくにはどのようなことができるのかということを考えられるページになっております。特に、防災のことについても記述されているところです。

では続いて、開隆堂についてです。

第2の観点、主体的に学習に取り組む工夫、学習した内容を家庭や地域で実践するための記述についてです。

それでは、27ページを御覧ください。

学習の最後に、生かす、深めるがあり、学習したことを生活に生かすための実践例があります。5年生では10回、6年生では9回、生かす、深めるで実践例が確認できるようになっています。

あわせて、80ページを御覧ください。

80ページは、生活の課題と実践例、このようなページがあります。生活の課題と実践例、私と家族のワンチーム大作戦ということで、課題発見、決定、計画の作成など示されています。このようなページは非常に実践につながるとい

うことで優れていると評価されているページとなっています。81ページは、家族とクリーン大作戦、82ページは全校のみんなのために役立てよう、83ページは地域のひとと仲よくなろうなどのページがあります。

続いて、第4の観点です。内容の表現、表記、本文記述との適切な関連づけがなされたイラスト、写真等の活用です。野菜の切り方について、切り方の説明はそれぞれ題材のページに絵と動画で示してあります。巻末で実物大の写真が掲載されており、右利き、左利きの動画が1つにまとめられています。東京書籍はそれぞれ別動画でしたが、開隆堂のほうは1つにまとめられているのが特徴です。実習の手順が横流れで示されており、実際の授業では使いやすいのではないかと評価されています。最後に、片づけ方まで入っているところです。

では、148ページ、149ページを御覧ください。

実物大の実習に役立つワンポイントということで、右利きの場合、左利きの場合という写真とともに掲載をされている状況です。

それでは、家庭科の説明は以上です。

○宮本教育長 それでは、御意見、御質問をお願いいたします。

○村上節子委員 東京書籍と開隆堂は、それぞれ丸の数が3つと2つというふう
に評価されてるんですけど、私は個人的に見てそんなに差がないように思うん
ですが、何かそれぞれのもうちょっと特徴などがあったら教えてください。

○石本教育指導課長 東京書籍の教科書については、学習の仕方及び流れが非常
によいということが上げられています。生活に生かしていく活動というところ
がポイントです。また、日本の伝統についても触れられておりまして、折々
に児童の目に触れさせたらよいと考えるような内容になっているのが特徴で
す。

また、開隆堂の教科書については、料理研究に取り組む人、伝統的な野菜づ
くりに取り組む人、人物を取り上げながら子供と結びつけようとしているのが
よいのではということです。また、持続可能な社会のために2年間の学習を中
学校の学習につなげようとしている点も特徴であるとしています。

以上です。

○豊田委員 2つの社とも非常に違いは多少ありますけれども、今の子供たちに
とって学んでいくのにいいと思うんです。東書のほうは、やはり導入段階で意
見を可視化したり整理したりすることで考え方が深まっていくとか、それから
課題を発見したり解決できるような形での編集がしてあるように思います。

それから、さらに生活に生かすとか新しい課題を発見することとか生活を変

えることなどにも配慮しているんじゃないかなと思います。それから、先ほどおっしゃったように、日本の食文化であったりとか伝統文化であったりとか衣食住の伝統的なものがいろんなところに散りばめてあって、それを学ばせていくことも非常に大事だなと思います。

それから、開隆堂のほうも今おっしゃられたような特徴がありますが、総じて言えば東書がいいのかなというふうに思います。

以上です。

○村上正則委員 先ほど村上節子委員から質問があったように、特徴は大体分かりました。豊田委員からも特徴は分かったんですが、事務局としては尾道の子供に対してどちらのほうが有用だと、優れてるのか、もしあれば教えてください。

○石本教育指導課長 東京書籍の教科書は、話し合い活動のような言語活動が充実しているということが上げられています。例えば、デジタル思考ツールの活用について、話し合いの基となる思考ツールということが、先ほども見ていただきましたが、最初のところでいろいろな考えを書き、まとめていくというようなところがありました。この思考ツールについては他教科でも取り上げたらいいのではないかなという意見も出ております。こういうところは東書の特徴であり、高く評価できるという意見が選定委員会でもありました。

○宮本教育長 ほかにいかがですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 ないようですので、尾道の子供たちにとっては東京書籍がよりいいのかなというような御意見をいただいたと思うんですが、東京書籍ということで御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では、御異議なしと認め、東京書籍を採択することに決定いたしました。

次に、保健体育に入ります。

説明をお願いいたします。

○石本教育指導課長 保健体育について説明いたします。

報告書の71から74ページを御覧ください。

保健体育の教科用図書の発行者は6社です。全ての発行者について調査、審議をした結果、特徴的であると評価した各社の観点について報告します。

まず、東京書籍です。第1の観点の3、第2の観点の4、大日本図書は第2の観点の5、第4の観点の8、大修館書店はなし、文教社もなし、光文書院も

なし、学研は第1の観点の3と第3の観点の6です。

選定委員会での審議の結果、特に特徴的であると評価したのは東京書籍と大日本図書と学研です。この3社について具体的に説明します。

まず、東京書籍です。

第1の観点は、基礎基本の定着、実習に関する記述です。

5、6年生の41ページを御覧ください。

実習の例示が文章と挿絵で行われ、自分で記述、チェックする形です。手当ての方法を理由とともに記入をさせています。

それから、3、4年生の18ページを御覧ください。

このように、実験では写真とともにそのやり方、方法を示しています。これらによって、基礎基本の確実な定着が期待できます。

また、第2の鑑定についてです。主体的に学習に取り組む工夫、学習の見通しを立てたり振り返ったりする学習のための構成上の工夫です。

それでは、5、6年生の49から52ページを御覧ください。

感染症の予防の章です。学習の進め方や課題解決の過程が各単元の先頭ページ右上に示されています。このページなら、気づく、見つける、キーワードを書き込みながら児童が主体的に生活場면을振り返ることができ、学習内容を生活にどのように生かしていくのかを考えることができると捉えています。

続いて、大日本図書です。

第2の観点、主体的に学習に取り組む工夫、健康についての自己の課題を見つけ、その解決に向けた学習活動の工夫です。

5、6年生の10、11ページを御覧ください。

心の発達の章です。導入で自分の生活を振り返る活動が提示されており、単元全体の興味づけが期待できます。学習の進め方や課題解決の過程は各ページの左端に示されていて、生かそうで実生活、実社会につなげて考えられるようになっています。このページで言いますと、緑で書いてあるところ、左のところに見つける、考える、やってみる、まとめる、生かそうですね。一連の学習過程が明確にされています。

続いて、第4の観点です。内容の表現、表記、本文記述と関連づけがなされた学習資料の活用です。先生、ナビゲーター、児童のキャラクターを取り入れ、各単元の冒頭にQRコードを配置して関連する動画などをまとめて見ることができるようにしてあります。また、児童の興味を引くようなQRコードも用意をしています。

それでは、5、6年生の7ページを御覧ください。

これは、大谷翔平さんの目標達成シートです。今、旬のというものですが、子供たちが野球が好きかはいろいろあると思いますが、自分の目標を立てることに対して、こうしたやり方、なかなか刺激的で興味深く子供たちは見るのではないかと捉えていました。こうした点に工夫があると評価されています。

続いて、学研です。

第1の観点、基礎基本の定着、実習に関する記述です。文章を書き込ませる部分が多く、実習の例示が文章や絵で行われ、チェック欄もあります。実習後の気づきや振り返りをキーワードを使って自分の言葉で記述させることで基礎基本の定着を図ることができます。QRコードから実習の動画を確認できます。かがくの目というコーナーでは、写真やイラストを使って実験が説明されています。

それでは、5、6年生の42ページを御覧ください。

42ページには、文章を書き込ませるというところが、実習で気づいたことを書いておこうというようなこともあります。この動画を見るというのは、いけますでしょうか。

[動画視聴]

○石本教育指導課長 このような実際の動画で確認することもできます。

それでは続いて、第3の観点です。内容の構成、配列、分量、単元や資料等の配列です。

5、6年生の25から29ページを御覧ください。

けがの防止の章です。他社に比べて単元の目標の提示の仕方が詳しくなっております。けがの防止について詳しく記載があります。単元の初めに、その単元で何を考えたり話し合ったりしたらよいかのかが示されています。学習課題を持たせるような吹き出しが掲載されております。章単元の初めに、予想しようでイラストを提示し資料を読み取る、2、原因を話し合う、3、学びを生かすの3つの学習過程をそれぞれに応じた資料を記載しています。

また、29ページを御覧ください。

29ページの下には、ほけんのはこととしてデータを読み取る部分があります。不安や悩みへの対処の内容が充実しているのも特徴です。

以上で保健の説明は終わります。

○宮本教育長 それでは、御意見、御質問をお願いします。

○村上正則委員 保健の場合、3つにそれぞれ2つの丸が、優れてるというふうに採点されてるわけなんですけども、比較してその中でどれがいいというのもまたあれなんですけども、どれが尾道の子供のためには優れてるのか教えてく

ださい。

○石本教育指導課長 3社とも丸が2つずつということで、どこの社も優れていると捉えております。

まず、東京書籍の教科書は、基礎基本の確実な定着を図るための工夫と主体的に学習に取り組む工夫が他の教科書と比較して特徴であると捉えています。

大日本図書の教科書は、主体的に学習に取り組む工夫と本文記述と関連づけがなされた学習資料の活用が他の教科書と比較して特徴であると捉えています。

学研の教科書は、基礎基本の定着と内容の構成、配列、分量が他の教科書と比較して特徴であると言えます。

比較したときにどこのものが優れているかという点では、内容面で言いますと学研のほうがよりよいのではないかという意見が選定委員会では協議の中でありました。

○宮本教育長 ほかにいかがでしょうか。

○村上節子委員 保健っていうと、ちょっと健康とか病気とかっていうところに何か焦点があるように思うんですけど、健康っていうと体が動くとか動かないとかっていうだけじゃなくって、心が元気かどうかっていうところは今の時代すごく課題があるのかなと思うんです。

この3社の中で、その心の健康っていう章があるんですけど、どれが一番優れているとか、それぞれの特徴みたいなのがあれば教えてください。

○石本教育指導課長 子供たちの心の健康について子供たちが学習をしていったときに、内容面的には一番学研が学びの過程としてはよいのではないかと捉えています。

学研には、悩んだときにどう対処したらよいのかについて3ページにわたって上げられております。これは他社にはないと捉えています。また、学校での相談窓口が出ているということも学研の特徴と捉えておりまして、心の健康について充実していると捉えているところです。

○宮本教育長 よろしいですか。

○豊田委員 学研の教科書を見て、ほかでもそうですけれども、非常に記述をするということが重んじられているように思います。書くことによって自分自身を見詰めるとか、健康を見詰めるとか、そういうふうなことをこの保健でより求めて書かせているなというふうに私は取ったんですけども、最近書くという活動が少しずつ減ってきているという現状の中で、書くことでより学習を深めていくとか、書くことで自分自身をより見詰め直していくとか、そういう点

ではこの学研の教科書を評価したいなと思います。

それから、併せてこういう保健の学習をすることを通して、自分がどういふふうにしたらいいのかという自分自身の考えですか、そういうのを振り返ってしっかりと考えていく編集にもなっているように思います。したがって、学研がやっぱりいいのかなというふうに思います。

以上です。

○**奥田委員** 各委員さんが言われたことと、もうほぼ同じなんですけれども、この学研の保健を見ますと、心の健康についても焦点が当てられている、そして自分で自分の健康を守るためにはどうしたらいいかというようなことをテーマに、そして自分の言葉でそれをまとめて書くということは大切だと思います。幾らいいことを学んでも、自分の血や肉にならないと意味がないと思いますので、やはり自分の生活と向き合うような形でこの本が作られているというところが優れているところだと思います。

以上です。

○**宮本教育長** ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○**宮本教育長** では、ないようですので、保健体育については皆さんから学研ということで評価が出ましたが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○**宮本教育長** では、御異議なしと認め、学研を採択することに決定いたしました。

次に、外国語に入ります。

説明をお願いいたします。

○**石本教育指導課長** それでは、外国語について説明をいたします。

報告書の75から78ページを御覧ください。

外国語の教科用図書の発行者は6社です。全ての発行者について調査、審議をした結果、特徴的であると評価した各社の観点について報告します。

まず、東京書籍は第4の観点の8、開隆堂は第1の観点の2、第2の観点の3、第3の観点の6、三省堂は第1の観点の2、教育出版は第2の観点の3、第4の観点の7、光村図書は第3の鑑定の6、第5の観点の9、啓林館はなしです。

選定委員会での審議の結果、特に特徴的であると評価したものは開隆堂と教育出版と光村図書です。この3社について具体的に説明いたします。

開隆堂についてです。

第1の観点、基礎基本の定着、基礎的・基本的な知識、技能の定着を図るための工夫です。Let's Play、Activityの順番で必要な表現を練習した後、伝え合う活動ができるようになっていきます。Let's Playでは、ゲームで表現に慣れ、Activityでお互いに伝え合う活動が組み込まれています。単元で必要な語句や表現の練習を音声や映像を使って言語活動ができる構成になっております。

それでは、5年生の51ページを御覧ください。

Let's Play、Activityの順番で必要な表現を練習するようになっていきます。

それでは、ちょっと見て、Let's Playですね、それからちょっと動画のほうを見ていきます。

[動画視聴]

○石本教育指導課長 このように、単元で必要な語句や表現の練習を音声や映像を使って言語活動ができる構成になっております。

続いて、第2の観点です。主体的に学習に取り組む工夫、興味関心を高めるための工夫です。聞くこと、話すことの言語活動の工夫が主体的に学習に取り組むことにつながっています。単元の導入において、会話場面や状況を明確に示しています。聞き取りの視点も示されています。また、デジタル教科書との相性ということもよいという点も併せて評価されていました。

それでは続いて、第3の観点です。内容の構成、配列、分量、知識、技能の活用を促す配列の工夫についてです。児童自身が経験したことなどが少しずつ詳しく伝えられるように段階的に言語活動を導入し、最終的に児童が伝えたい事柄をスピーチできるようになっています。

それでは、6年生の14ページを御覧ください。

自分について発表しようということで、子供たちが自分自身が伝えたいことを伝えるということが実現されるようになっていく工夫があります。このように見開きで示されているのが特徴です。まず、出身地の言い方を知り、好きなことなどを伝え合うというふうに流れが分かりやすく見えるように配列されているのが特徴です。

そしてまた、ゴールの姿がまとまりのある自己紹介ができるようにということを示されております。

それでは続いて、教育出版です。

第2の観点、主体的に学習に取り組む工夫、興味関心を高めるための工夫です。単元の導入において、会話場面や状況を示しています。また、単元の初め

にゴールが示され、Thinkとして単元のゴールに話したいことを記述する欄があります。

6年生でいいますと、11ページを御覧ください。

Thinkというのは下の欄です。ここにメモを書き込むということになっています。

また、16ページには、Final Activityということで、16ページを御覧ください。

動画をつくろう、このように面白い、子供たちが興味を持てる活動が設定されています。見本として自分たちもやってみようという活動になっています。

続いて、第4の観点です。内容の表現、表記、学習内容との適切な関連づけがなされたイラスト、写真等の活用です。

5年生の53、55、56を御覧ください。5年生の53です。

5つの領域に関連した活動などの領域を示すマークやキャラクターを設定し、紙面に明示しています。音声や動画などが視聴できるQRコードを活動ごとに数か所示しています。充実しているという点で評価がありました。

それでは、動画のほうを。

〔動画視聴〕

○石本教育指導課長 音声の練習などもできるQRコードがありました。

それでは続いて、光村図書についてです。

第3の観点、内容の構成、配列、分量、知識、技能の活用を促す配列の工夫です。

6年生の84ページを御覧ください。

My Best Memoryというところです。少しずつ詳しく伝えられるように段階的に言語活動を導入し、最終的に児童が伝えたい事柄をスピーチできるように設定をされています。スピーチを聞いている人が質問をする言語活動も設定されているという点も評価がありました。84ページ、場面、状況などが明確に書かれているところです。それから、87ページ、Small Talk、それからLet's try、練習するところなどがあります。それから、89ページ、ここにもまたSmall Talk、Let's tryなどが書かれています。

続いて、第5の観点です。言語活動の充実、児童の身近な暮らしに関わる場面設定の工夫についてです。

6年生の81から82、併せて5年生の46から49を御覧ください。

単元末のJump!というコーナーにおいて、習得した知識、技能を活用す

る、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの活動を設定しています。また、3回の世界の友達という章においては、聞くこと、読むことの活動、*You can do it!*において話すこと、書くことの活動を設定しています。このような言語活動が充実しているという点を評価されています。

6年生の81、82。聞くこと、読むこと、話すこと、*Let's read*とか*Let's watch and think*であるとか、81ページにもそのような内容の活動が取り入れられているところです。

それから、5年生の46、49ページです。

5年生の46、47ページについては、世界の友達という単元で、それぞれ聞くこと、読むことの活動、また*You can do it!*において話すこと、書くことの活動を設定されているということが評価をされているところでした。

以上で説明を終わります。

○宮本教育長 それでは、御意見、御質問をお願いいたします。

○村上節子委員 今使われている英語の教科書は東京書籍と聞いているんですけど、今回は評価がすごく低いようなんですけど、その理由が分かれば教えてください。

○石本教育指導課長 東京書籍は、何を目的に何をしていくか、児童にとっても、また指導者にとっても分かりにくいと評価されています。内容が複雑で全体のつくりが分かりにくくなっているのではないか、指導者として1時間の授業で何をどこまで指導するのか分かりにくいということが選定委員会での意見に出てありました。

○宮本教育長 よろしいですか。

○豊田委員 英語教育において、先日来、学力テスト等々課題が大きいと、中学校も高校も含めて言われておりますけれども、小学校へ導入されてもう随分というんか大分なりますけれども、現実に行われている英語の授業が、教科書を基にして行われているんでしょうけれども、子供たちが本当に楽しく学んでいるんでしょうかということを知りたいんです。

尾道の子供たち、特に小学生です。その実態から踏まえて、先ほど東書は課題があったと、開隆堂がなかなか今いい線いってるというような感じですがけれども、実際に現実問題として英語の授業が子供たちにとって本当に毎時間毎時間楽しいというふうな感じになっているのかどうか。

それと、じゃあそれを意欲的に楽しい授業になるように、子供たちが積極的に参加できるようにしていくための教科書はどれを選んだらいいのかとか、教

科書だけの問題ではないのではないかと思うのは思うんですけども、そのあたりで英語の先生もいらっしゃると思うんですけども、市内の実態であったりとか現状をちょっとだけ教えてください。難しいでしょうか。

○小柳学校教育部長 今の市内の英語の小学校の状況ですけども、デジタル教科書も入っていますので、もう随分授業の様子っていうのが私たちが想像している以上に進んでるっていいですか、子供たちが違和感なくALTとも接することができてますし、言語活動、聞くというのができてるといふふうに思います。ごめんなさい、ちょっとマイクの調子があれなんですけど、ですからやっぱり小学校の入門期っていうのは英語の基礎基本、いわゆる聞く、話す、ここがどれだけやっぱり回数多く週2時間の中でできるかどうかというのがポイントになって、中学に英語が好きな状態で上がってほしいというのが事務局の願いであります。

そうしたときに、現行の東京書籍だと結構日本語で書かす場面とか、やっぱり言語活動の部分が若干私たちが目指している英語教育とは違うというところがありまして、今回、開隆堂がいいのではないかとということで選定委員会からも報告も受けましたし、事務局としてもそういうような目指す方向性ということで、やっぱり英語での言語活動が充実されているものがふさわしいのではないかとということで、今こういう議論をさせていただいております。

○豊田委員 分かりました。

○奥田委員 外国語について先ほども話題になりましたが、4年前は東京書籍を選んだと、今回は東京書籍は丸が1つで開隆堂が丸3つというふうに大分差がついたと。4年前はどうだったのかなと思って私も4年前の検定教科書を持ってきてもらって見させてもらいました。やっぱりあの時点では開隆堂もそんなに、やっぱり東京書籍のほうが優れているのかなという感じを持ったつもりでした。

だから、それから4年間たって小学校の中で英語の授業が始まって、実際やってみて、今の東京書籍の英語の求めているものではちょっと現場は物足りない、そういうところを踏まえながら、やはり他社、開隆堂であったり教育出版であったり光村も努力して、よりいい英語の、外国語の教科書を作られたという理解でよろしいですかね、まず1点目。

○石本教育指導課長 選定委員会のほうでも、やはり同じように協議の中でありまして、今、おっしゃってくださったような話が出てまいりました。

○奥田委員 そうですね。

4年前のを比べると本当に隔世の感があるような、開隆堂を含めて各社努力

して、よりいいものを作ろうというような意気込みが感じられました。特に、開隆堂の外国語の教科書につきましては、先ほどから話題になったように、聞くということと今度は話すという2つの言語活動が柱になっていて、参加型の教科書になっていると思うんです。子供たちは主体的に参加しないといけないとか、自然的に主体的に英語に取り組むという、そういう教科書の作りになっているというところがすばらしいところと思います。

全ての子供たちが主体的に外国語に取り組むと、対話的な取組を行うというところが明確になっているので、そういうところはすばらしいというふうに評価しました。

以上です。

○村上正則委員 英語の教育においては家庭学習が非常に大事だと思うんですけども、家に帰って教えてくれる人、発音なんかは家で教えてくれる人がいないとどうにもならないわけで、そのようなときに開隆堂のデジタルコンテンツは非常に有用であるのではないかなと思ってはるんですが、他社も結構いい線いってらるんですけども、開隆堂がちょっと一歩進んでるのかなというような感覚があるんですけども、そこはどうでしょうか。

○石本教育指導課長 選定委員会の中でも、やはりQRコードについて充実してきているというふうな話は出ておりました。いろいろな音声を聞くような、先ほどのようなリズムに乗ったりというようなところも見られたりということで、幅があるのではないかと捉えています。

○宮本教育長 ほかにいかがでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では、ないようですので、外国語につきましては開隆堂ということで御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 御異議なしと認め、開隆堂を採択することに決定いたしました。

次に、特別の教科道徳に入ります。

説明をお願いいたします。

○石本教育指導課長 それでは、特別の教科道徳について説明をいたします。

報告書の79から82ページを御覧ください。

特別の教科道徳の教科用図書が発行者は6社です。全ての発行者について調査、審議をした結果、特徴的であると評価した各社の観点について報告いたします。

まず、東京書籍は第1の観点の2、第5の観点の9、教育出版は第3の観点

の6、第4の観点の8、光村図書は第1の観点の1、第3の観点の6、第5の観点の9、日本文教出版は第1の観点の2、第3の観点の6、第5の観点の10、光文書院は第1の観点の1、第2の観点の4、第3の観点の5、学研は第3の観点の5です。

選定委員会での審議の結果、特に特徴的であると評価したものは光村図書と日本文教出版と光文書院です。これが他社よりも優れている点が多くあり、この3社について具体的に説明いたします。

まず、光村図書です。

第1の観点、基礎基本の定着、道徳科の学び方等の示し方についてです。

それでは、2年生の98ページを御覧ください。また、5年生の76ページも御覧ください。

児童が主体的に道徳の学びに取り組めるよう、教材への向き合い方のヒントを示しています。気持ちを表す言葉を例示したり、図を使って考えさせたりするなど、児童の主体的な道徳の学びを具体的に導き、道徳の思考や表現を助ける工夫となっています。道徳で使う言葉、2年生の98ページには、このように気持ちを表す言葉、考えるヒントとして様々に上げられています。驚く、びっくりする、はっとする、ぐっとするというような例が挙げられています。

また、5年生の76ページ。こちらは図を使って考えようということで、考えるヒントとして考えを整理したり広げたりするときはフィッシュボーン図を使うということで思考ツールが掲載されています。こういった点に工夫があると捉えています。

続いて、第3の観点です。内容の構成、配列、分量、現代的な課題等を踏まえた内容の示し方です。

それでは、3年生の18ページ、また6年生の87ページを御覧ください。

まず、2つの教材とコラムでユニット化した、いじめを許さない心が設定されており、ソーシャルスキルトレーニングの活動が設けられています。

それから、6年生の87のところには、情報モラルは教材とコラムをセットで学べるようになっており、情報と向き合うを設けております。SDGsに関する教材は、6年間で17の目標全てに触れられるように設定してあり、こうした点は特徴的であると評価されています。

続いて、第5の観点です。言語活動の充実、考えを伝え合う活動の工夫です。巻頭のみinnで気持ちよく話し合うためのコツの中に、話合いのポイントや例などを示しています。教材の終わりの考えよう・話し合おうの中に、対話するための問いの例示もあります。

全学年の巻頭を御覧ください。

みんなで気持ちよく話し合うためのコツというのが全ての学年に示されています。また、教材の終わりには、考えよう・話し合おうというところが記載されています。

続いて、日本文教出版です。

第1の観点、基礎基本の定着、発問の工夫です。

4年生の124ページから127ページです。

冒頭で主題に関わる投げかけを行い、教材文の終わりの考えてみよう、見つめよう・生かそうという主題から思考がそれることがない発問の示し方の工夫があります。学ばせたい道徳的価値の主題から離れない、そこに焦点が合っているという点が評価されております。

124ページは、自分の長所について考えましょうというところです。教材文の終わりに考えてみよう、それから見つめよう・生かそうというように思考がそれることがない発問の示し方があります。

6年生の、では54、57も御覧ください。

感謝し、答えるということで、冒頭での主題に関わる投げかけ、おかげさまでという言葉が持つ力について考えましょうということから、最後に考えてみよう、見つめよう・生かそうという発問の示し方の工夫がありました。

続いて、第2の観点です。内容の構成、配列、分量、現代的な課題等を踏まえた内容の示し方です。いじめを直接的、間接的に扱った教材、いじめの問題を考えるための様々な角度から考えるための別葉という意味で、間接的とコラムを組み合わせ、人としての関わりユニットを設定しており、扱いが多面的であることがあります。また、コラム、心のベンチを設定し、情報モラルやSDGsについて学ぶことができるようになっています。多面的な面から情報モラルを扱っているのが特徴です。

それでは、3年生の86を御覧ください。

86ページは、同じ仲間だからということで扱っております。この内容について、次に92ページ、93ページ、心のベンチです。コラム、心のベンチが設定されて、子供たちに考えさせる、学ぶことができるような示し方がされています。それから、97ページは考えてみよう、見つめよう・生かそうです。

続けて、第3の観点についてです。言語活動の充実、考えをまとめたり振り返ったりする活動の工夫です。単元のまとめりごとの自分の考えをまとめる、書き込み欄と別冊の道徳ノートによって自分の考えをまとめることができます。また、別冊の道徳ノートは、どの教室でも学びの質を保障するのに有効で

あると捉えています。この別冊ノートについては、以前は各社ありましたが、今回は日文にのみ別冊ノートがついているという特徴があります。

続いて、光文書院についてです。

第1の観点、基礎基本の定着、道徳科の学び方の示し方についてです。

それでは、各学年見開き2ページですが、児童が見通しを持って学び、問いを見つけ、考えを深め、授業後へと広げていくという一連の流れが示してあります。それでは、見開きの2ページ、道徳の時間はこんな時間ですということで、道徳の授業の流れが示してあるのが特徴です。

続けて、第2の観点、主体的に学習に取り組む工夫、体験的な学習を取り入れた工夫です。

6年生の30ページを御覧ください。

全ての学年でみんなでやってみよう！のページを設け、実際の問題場面を想定した体験的な学習を通して考えることができるようにしています。ナイスリターン（おたがいに納得するには）言葉のキャッチボール、これもソーシャルスキルトレーニングの一つだと捉えています。こうした点を評価されているところです。

道徳については以上です。

○宮本教育長 それでは、御意見、御質問はありませんでしょうか。

○村上節子委員 この今説明していただいた3社ともそれぞれ丸が3つついているんですけど、この3社の中でいじめの問題とか情報モラルについて最も優れている社はどれか教えてください。

○石本教育指導課長 いじめの問題については、日本文教出版がいろいろな側面から扱っていて、例えば法律の面から扱っているというところも見られました。このようなところが選定委員会でも議論になったところです。

また、情報モラルについては、日本文教出版は満遍なくゲームやインターネット、情報モラル、SNSについて取り上げているところがあります。様々な角度から情報モラルを扱っていたのは日本文教出版のみであると報告を受けています。また、様々なジャンルからアプローチをされています。今、情報モラル教育というのは、いじめの問題と絡めて扱っていることもあり、子供たちのためにはいいのではないかと、日本文教出版が情報モラル教育の面では優れているという議論がありました。

○村上正則委員 先ほど道徳ノートのことをちょっと触れていただいたんですが、もう少し詳しく説明していただければありがたいです。

それと、光村のほうの道徳で、1年生か、内容なんですけども、母は料理を

しています、お父さんは何か大工仕事をしていますというような内容があったんですけど、ちょっと家庭の中の役割分担を固定化するように受け取られるきらいもあるのかなってちょっと気になったものですから。それは別にお答えは結構です。はい、すいません。

○石本教育指導課長 それでは、道徳ノートのことについての御質問だったと思いますが、これは日本文教出版のみ、このたび準備をされていて、他社にはない特徴であると捉えています。

道徳ノートには、単元のまとめりごとに自分の考えをまとめる書き込み欄があり、自分の考えをまとめて後で振り返ることができるということがあります、それらを自己の振り返りとして簡単に見返すことができ、学びの連続性という視点からも有効であるということです。また、道徳ノートを活用することで、どの教室でも学びの質を保障するのにも有効ではないかというふうに捉えています。

○宮本教育長 よろしいですか。

○豊田委員 前回の採択のときに、特別の教科 道徳のときにいじめの問題であったりとか情報モラルの問題であったりとか、そういったところが採択の視点になっておりましたよね。それから思うと、どの教科書会社も非常によく工夫されているように思います。

それから、特にいじめ問題については、よく議論し合う道徳と言われますけれども、よく話し合いをして、それが悪いというふうに決めつけではなくって、背景であったりとかいろんなことを考えながら進めていくというふうな道徳のありようというんですか、そういうのが追求されてきましたが、それも随分各教科書を見てもよくなっているし、学校での実践もきっとそういうふうな方向にいったるんだろうと思うんです。

そうすると、道徳教育の中で、特に議論する道徳というふうに最近言われていますけれども、各会社が示している視点といいますか、こういうことを話し合っほしいとか、そういうのも非常によく考えられて、特に教材があってその教材に対してどこを追求していくといいかというふうなところが非常によく絞られているなと思って見せてもらいました。

それから、書くということで先ほども言いましたけれども、自分の思いを書く、書いた思いを伝える、話し合う、議論し合う、そういう点でも書くという活動を重視してあって、特に先ほどの道徳ノートをつくっている日本文教出版ですか、これはもうそういうところが十分に意を酌んでいるなと思うんですけれども、そういう点でやっぱり日本文教出版がいいのかなというふうな思いを

持ちました。

それから、後でまたお話があるかと思えますけれども、教材の中身も非常に感動的なものであったりとか心を打つものがたくさんどの教科書会社にもはまっていたと思うんです。そういう点では随分変わってきているというふうに思いました。ますますこの道德の時間が充実して、それこそ物の考え方をお互いに尊重し合うような、子供同士がいじめのないそういうところへ集結していくような授業になったらいいなというふうなことを強く思いました。

以上です。

○**奥田委員** 今の豊田委員さんの意見の発展ということになると思うんですけども、今まで議論が出ましたように、日本文教出版の教科書は、いじめ問題であるとか情報モラルを生徒が自分のこととして考えられるようなつくりになっていると、バランスよくそれが配置されているというところもやっぱりすばらしい、評価すべきところと思います。

それから、道德ノートを作っておられ、その中で授業の振り返り、教材の振り返りがしっかり自分の言葉で書けるというところも非常にいいと思います。

それから、私は何よりこの日本文教出版がいいと思いますのは、教材がやはり自然で共感を呼ぶような、そして心動かされるような、そういう教材がずっと配置されているということが強みだと思います。道德の場合は、やはりその教材を読んで子供たちがどう感じ、そして自分の成長の中でどういうふうに生かしていくか、自分を見詰め直すかということが非常に大切な教科だと思いますので、そのところで非常に教材の工夫がある、そして興味を持ってそのことを考えられるような編集になっているというところを高く評価したいと思います。日文のテキストが、これまでも採用してましたけども、今回の採用でもまた続けていけばよろしいんじゃないかなというふうに私は思いました。

○**宮本教育長** ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○**宮本教育長** では、ないようですので、道德の質疑を終結し、採決に移ります。

道德については日本文教出版ということで御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○**宮本教育長** 御異議なしと認め、日本文教出版を採択することに決定いたしました。

以上で審議を終わります。

この後の採択事務について、事務局からお願いします。

○石本教育指導課長 本日の採択結果については、8月31日までに広島県教育委員会へ報告をいたします。広島県教育委員会は、県内の各採択地区の採択結果を9月1日以降に公表します。これに合わせて尾道市教育委員会においても、令和6年度に尾道市立小・中学校で使用する教科用図書採択基本方針についての1、採択基本方針の3、開かれた採択の推進に基づいて公表に努めてまいります。

○宮本教育長 委員さんのほうから何か御意見、御質問はありませんでしょうか。

よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では、ないようですので、以上で議案第41号の審議を終わります。

以上をもって本日の日程は終了しました。

これをもって本日の会議を散会すると同時に、第10回教育委員会定例会を閉会いたします。

午後5時9分 閉会